

地域資料個票一覧

2025/05/22 14:17:36

望月桂関係資料

【 資料群：5004004 望月桂関係資料 】

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
1	昭和2・7	1927	サラリーマン同盟パンフレット第一集 サラリーマンと労働運動	サラリーマン同盟		冊子	9冊
2	大正15・12	1926	俺達と政治	農村運動同盟		冊子	4冊
3	大正14・3	1925	小作人に訴ふ	農村運動同盟		冊子	3冊
4	大正8・10・ 20	1919	新社会パンフレット第一冊 労働者の 天下	堺利彦 新社会社		冊子	
5	昭和2・10・ 25	1927	自然科学と無政府主義	八太舟三 黒闘社		冊子	
6	大正15・6・ 19	1926	革命の研究	クロボトキン 著 大杉栄 訳 労働運動社		冊子	
7	大正15・9・ 1	1926	パンフレット(一) 国家の起源 ードラ ユー王朝一	岩佐作太郎 訳 黒人社		冊子	
8	昭和2・4・1	1927	社会主義進化に於けるアナーキズム の位置(改版)	クロボトキン 著 黒旗社		冊子	
9	大正14・1・ 31	1925	鶴鳴パンフレット 労働運動と大衆労 働者運動	岩佐作太郎 未来と青年社		冊子	
10	昭和2・5・ 30	1927	自由連合の話(第三集)	石川三四郎 東京印刷工組合		冊子	
11	大正15・7・ 1	1926	パンフレット第一集 近代無政府主義 運動史	柳澤善衛・芝原淳三 自由公論社		冊子	
12	大正11・6・ 5	1922	革命の失敗	大杉栄 労働運動社		冊子	江西一三宛葉書挟み込み
13	昭和3・4・ 27	1928	社会と国家	山田義文		冊子	
14	大正11・ 11・1	1922	ア・ロソフスキー著 赤色労働組国 際同盟	労働問題研究所		冊子	書き込みあり、詩あり
15	大正11・4・ 14	1922	青年に訴ふ	クロボトキン 著 大杉栄 訳 労働運動社		冊子	
16	大正13・ 11・12	1924	レーニン会見記 ピー・アール社パン フレット第四集	吉田 一 ピー・アール社		冊子	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
17	大正13・3・31	1924	総選挙パンフレット 民衆戦ふべき乎	室伏高信 批評社		冊子	
18	大正14・2・8	1925	共産党宣言の種本	チエルケソフ 著 延島栄一 訳 石川三四郎 序 労働運動社		冊子	
19	昭和2・4・29	1927	自由社パンフレット(2) 吾々の見た組合と政治	柳澤善衛 自由社		冊子	
20			cosmopolitan 文明批評 あざみ			冊子	・COSMOPOLITAN 世界人 4月号(第1巻第4号)・COSMOPOLITAN 世界人 5月号(第1巻第4号)(大正5年5月5日発行、世界人社)※書き込みあり・文明批評 創刊号(大正7年1月1日発行、文明批評社)・文明批評 2月号(大正7年2月1日発行、文明批評社)・堀保子編集 あざみ 5月号・堀保子編集 あざみ 6月号(大正7年6月5日発行)・堀保子編集 あざみ 7月号(大正7年7月5日発行)・堀保子編集 あざみ 9月号の合本
21	大正14・8・1	1925	解放文芸創刊号 解放	解放社		冊子	
22	大正14・2・1	1925	臨時特別号 民衆運動 第二巻第二号(高尾平兵衛・久板卯之介追憶全集)	ピー・アール社		冊子	高尾平兵衛・久板卯之介追憶全集
23	大正11・5・20	1922	監獄部屋打破の叫び	全国土工総同盟会		冊子	望月桂自筆メモあり
24	昭和2・10・30	1927	社会生理叢書(1) サンヂカリズムの検討	八太舟三 社会生理研究所		冊子	
25	大正14・8・27	1925	パンフレット第一集 サンヂカリズムの話	石川三四郎 全国印刷工連合会		冊子	
26	大正15・7・23	1926	パンフレット(一) 男女学生の革命運動時代 ロシア無政府主義運動史	解放戦線社		冊子	
27	大正15・9・8	1926	社会主義進化に於ける無政府主義の位置	クロボトキン 著 黒旗社		冊子	
28	大正14・8・1	1925	啓明パンフレット第二冊 非政党同盟の主張及び綱領	下中彌三郎 啓明会		冊子	第八版(大正14年12月1日)

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
29	大正14・9・10	1925	啓明パンフレット第三冊 現代少年の社会観(高等小学生とある教師との対話)	小田就三 啓明会		冊子	
30	昭和2・2・10	1927	啓明パンフレット第十三冊 村の変遷とその再興精神	池田種生 啓明会		冊子	
31	昭和3・8・20	1928	ロシア革命の批判	ベルクマン 著 能智修彌 訳 自由書房		冊子	
32	昭和3・11・5	1928	クロンスタットの叛逆	ベルクマン 著 小池栄三 訳 自由書房		冊子	2冊
33	大正14・8・18	1925	青年に訴ふ	クロボトキン 著 大杉栄 訳 労働運動社		冊子	
34	大正12・1・24	1923	知識階級と労働者(2)	吉田順司		冊子	2冊
35	大正11・12・10	1922	大会決裂と労働者の立場(1)	吉田順司		冊子	
36	昭和12・4・1	1937	上原パンフレット第六編 キリスト者の生活	赤岩 榮		冊子	
37	昭和3・4・30	1928	労働運動と自由連合主義	山口勝清 社会思想研究会		冊子	2冊
38	大正15・9・21	1926	愛国心とはなんぞや?—自由の威嚇—	エマ・ゴールドマン 著 久保 譲 訳 黒社		冊子	
39	大正7・4・18	1918	有島武郎著作集 第四集 叛逆者	新潮社		冊子	
40	大正6・10・18	1917	有島武郎著作集 第一集 死	新潮社		冊子	第53版(大正10年8月20日)
41	大正9・6・10	1920	労働文芸叢書 第三編 奈落の人々	ジャック・ロンドン 作 和気律次郎 訳 叢文閣		冊子	
42			有島武郎個人雑誌 泉(全10冊)	有島武郎 叢文閣		冊子	
43	大正11・11・1	1922	有島武郎個人雑誌 泉 第一巻二号 再版	有島武郎 叢文閣		冊子	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
44	大正11	1922	有島武郎著作集 第五集 迷路	新潮社		冊子	
45	大正12	1923	有島武郎著作集 第十六集 ドモ又の死	叢文閣		冊子	
46	大正7	1918	有島武郎著作集 第七集 小さきものへ	叢文閣		冊子	
47	昭和5・7・5	1930	農民自由連合 創刊号	農民自由連合		冊子	
48			パンの略取 第1分冊	クロポトキン		冊子	
49			パンの略取 第2分冊	クロポトキン		冊子	
50			the socialist primer			冊子	
51			moments with modern great writer 英文近代文学			冊子	
52	大正15	1926	反逆児	反逆児聯盟		冊子	
53	明治43・5・25	1910	農民の福音	赤羽一		冊子	表紙なし
54	明治27	1894	平民叢書第5巻 文明の弊及び救治	民友社		冊子	
55	明治36	1903	家庭夜話 3	内外出版協会・堺利彦編		冊子	
56	大正9	1920	サボタージュ 怠業	土山巖夫著、中外経済社		冊子	
57	昭和7	1932	バクニーン全集第5巻 インターナショナルはどこへいく	社会理想研究会編・近代評論社刊		冊子	
58			地上(10冊)	地上社		冊子	
59			望月桂宛 波場直蔵葉書(軍事郵便)	江口部隊 三澤隊 波 望月桂場直蔵		葉書	
60			望月桂宛 岡本一平・かの子年賀葉書			葉書	
61			望月桂宛 近藤憲二封書 昭和5年8月10日消印	近藤憲二	望月桂	封筒	和田久太郎の獄窓から内俳句原稿か。平凡社原稿用紙を便箋に
62			望月ふく子宛 近藤真柄封書			封筒	
63			望月福子宛 近藤憲二封書	近藤憲二	望月福子	封筒	
64	2・8・4	—	望月福子宛 大杉あやめ封書			封筒	
65	1・2・21	—	望月福子宛 大杉あやめ葉書	大杉あやめ	望月福子	葉書	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
66			望月福子宛 大杉あやめ封書	望月福子	大杉あやめ	封筒	
67	6月10日	—	中村しげ子宛 古川時雄封書	古川時雄	中村しげ子	封筒	
68	5月20日	—	望月福子宛 古川時雄封書	望月福子	古川時雄	封筒	
69	4年9月18日	—	望月桂宛 古川時雄封書	古川時雄	望月桂	封筒	茶封筒
70	5年1月	—	望月桂宛 古川時雄封書	古川時雄	望月桂	封筒	緑封筒
71			望月福子宛 古川時雄封書			封筒	
72			望月ふく宛 封書	竹内 婦さ子		封筒	
73			望月しげ子宛 古河幹十封書			封筒	
74			望月桂 奥様宛 奥山芳尾封書			封筒	
75			望月桂 福子宛 新井美穂子葉書			葉書	
76			望月桂 福子宛 木下茂封書			封筒	
77			望月福子宛 木下茂封書			封筒	
78	3月11日	—	望月福子宛 近藤憲二封書			封筒	
79			望月福子宛 手紙	か志子		罫紙	
80			黒耀会展箱			一括	望月桂記事ならびに絵、ロシア革命者など写真、人物絵葉書、色紙(小川未明など)5枚
81-1			足立元氏書簡			封筒	
81-2	昭和47	1972	日本アナキズム運動史	小松隆二		書籍	
81-3	昭和47	1972	山崎今朝弥	森長英三郎		書籍	
84			アルバム(赤)			写真	バクショー同人の写真など
82			黒耀会ファイル			一括	『黒耀』の現物、黒耀会出品作? など
83			アルバム(革張り)			写真	
85			黒耀会展出品作 短冊18枚			短冊	「黒耀展出品作」と書かれた箱入り
86	昭和51・8・22	1976	「朝日新聞」1976年8月22日			紙	
81-4	昭和48	1973	コピー(美術グラフ 1973年9・10月号より)			紙	
87	明治42	1909	スケッチ_28			冊子	
88	昭和15	1940	スケッチ_39			冊子	昭和15年 パレット時代 松山温泉

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
89	昭和18	1943	スケッチ_50			冊子	小諸 直江津
90	昭和5	1930	漫文漫画(信濃毎日新聞・読売新聞・長野新聞掲載)			冊子	
91			犀川凡太郎スクラップブック			冊子	挟み込みあり 後援会パンフなど
92			犀川凡太郎宛 岡本一平封書 他			一括	・大杉栄紹介状・荻原礫山名刺(北村四海への紹介状)・メモ書き、コピー
93			八十二銀行「望月桂展」展示キャプション一式			その他	
94			漫画原面切り抜き 下書き一式			一括	
96-1			初期 社会主義研究 第15号			書籍	本編と抜き刷りの2冊
96-2	平成14	2002	民衆美術運動の唱道者 望月桂展	八十二文化財団		書籍	第28回企画展図録
96-3			リベルテール 7月号 無政府主義誌(望月桂追悼号)			冊子	2冊
96-4	昭和59	1984	図書 第419号	岩波書店		冊子	
96-5			漫画百年(7)	東京漫画スケッチ会		紙	抜き刷りコピー
96-6	平成16・3・18	2004	市民タイムス 平成16年3月28日	市民タイムス		紙	
96-7			(望月桂年賦部分コピー)			紙	
97-1			人物似顔絵(原画 4点)	望月 桂		紙	
97-2			望月桂画 絵葉書(バクーニン 他)			紙	6枚セットだが3種4枚のみ
98	昭和8・3・22	1933	朝日グラフ臨時増刊 漫画サロン集	朝日新聞社		冊子	
117			集合写真類			写真	
101			写真(①小林有也②S8・夏読売新聞漫文漫画掲載の為アルプス登山)			写真	
104			①黒耀会宣言 ②芸術の民衆化を図れ 望月桂			紙	
105	昭和13	1938	バクショー(創刊号)	爆笑社		冊子	
106			望月桂 原画			紙	
107-1			漫文漫画 原画「望月桂(自画像)」	望月桂		紙	
108	大正9・6・7	1920	黒耀 第一年六月号			紙	2部

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
109-1			(袋)労働者、小作人、校正刷 俺達と政治校正刷			封筒	No.109-2～109-5の袋小作人の校正刷は封入なし
110-1	大正5・6	1916	絲瓜帖			横帳	
110-2	大正5・7	1916	楽書			横半	
110-3			絵葉書 4点(馬賊の銃殺 他)	竹島書舗発行		葉書	
110-4			望月桂宛 良策書簡			紙	
110-5			革命家肖像写真 4点			写真	レーニン、エンゲルス 他
110-6			へちま移転開業葉書			葉書	
110-7			ドイツトリアノン砂漠の娘ブロマイド			写真	
110-8			浅間山風景写真			写真	2枚
110-9			名刺 8点			一括	山川菊栄・麻生久・風見章・犀川凡太郎(新愛知新聞・読売新聞)
110-10			①予算委員会撮影許可書 ②大相撲入場券(新聞記者用)			紙	
110-11			山鹿泰治 銅版画			紙	
110-12			望月桂宛ハガキ 雑誌『たぬき』発行所			葉書	
110-13			都新聞原稿用紙 「農民運動」			罫紙	
110-14			①望月桂宛 飯沼茂秋ハガキ ②マルクス肖像 ③書簡			紙	
110-15			望月桂宛 岡本かのご書簡			封筒	宛名は岡本一平
110-16			残華先生宛書簡など			紙	秋田魁新報原稿用紙
110-17	昭和15・11・5	1940	皇紀二千六百年 記念 望月桂画	望月桂		紙	
110-18			扇子 3点			その他	
110-19			望月桂宛 平林廣志 封書(軍事郵便)			封筒	封筒内に葉書1点あり
110-20	昭和6	1931	望月桂宛 新愛知東京支社 封書			封筒	
110-21			久板君遺稿(スケッチ・名刺)			紙	
110-22	大正元	1912	藤森香宛 三原林一封書			封筒	
110-23			望月桂宛 林泉封書			封筒	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
110-24	昭和8・4・10	1933	望月桂宛 村賀習之 封書			封筒	
110-25			色紙「天気晴朗波高 日本海戦報告之一節 東郷逸人」			その他	
110-26			望月君 木堂老人 書「一心万象」			紙	
110-27			望月桂宛 古川金重 葉書			葉書	
110-28			色紙 2点			その他	
110-29			色紙 2点			その他	
110-30			原稿「貧乏籤」			罫紙	鉛筆書き
110-31			望月桂宛書簡類と書いた封筒と「押し花」			紙	
110-32			望月君の議長振り(望月団治翁像)			紙	
110-33			望月桂宛往復葉書 大杉栄の会			葉書	
110-34			望月桂宛 林泉葉書			葉書	
110-35			中村しげ子宛 池田えいこ葉書			葉書	
110-36			望月桂宛封筒 池辺さん			封筒	封筒のみ、中身なし
110-37			スケッチ紙片 三名の人物像(平田史郎・塩川正己・今井梧楼)			紙	
110-38			①東京日日新聞 切り抜き(昭和6年1月30日・昭和7年5月16日・昭和11年3月22日) ②朝日新聞 切り抜き(昭和15年1月24日)			紙	
110-39			原稿「信州の山は偉大だ」			罫紙	陸軍航空本部用紙を使用
110-40			犀川凡太郎 墨絵(塔の原からの常念 望月 桂岳)			紙	
110-41			スケッチ(はかり)			紙	
110-42			スケッチ(牛の画)	望月桂		紙	
110-43			原稿「俳人囚人で通った づばらの久太の事」			罫紙	
110-44			スケッチコピー			一括	
110-45			原稿「和田久太郎 秋田監獄よりの通信」			罫紙	
110-46			(望月桂追悼文カ)			罫紙	
110-47	9月5日	—	凡太郎宛書簡	泉		紙	
110-48			平凡社望月桂宛 采文閣封書			封筒	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
110-49			黄色ファイル(木炭画写真)			紙	
110-50			短冊 宗達の幅			紙	
110-51			菅野スガ子獄中歌 印刷			紙	
110-52			久太 琉球土産(棕櫚団扇)			その他	
110-53			望月桂 漫画 3点			紙	
110-54			短冊 13点			短冊	
110-55			原稿「蟹の国」	望月桂		罫紙	原稿用紙27枚
110-56	大正5	1916	メモ用紙(「世界人」の裏表紙に安成二郎と和田久太郎のコメント)			紙	
110-57			望月桂宛封書 奥山伸			封筒	
110-58	昭和6・12・9	1931	望月桂宛封書 弁護士 丸山良策	弁護士 丸山良策	望月桂	封筒	
112			漫文漫画原稿(小作人・労働者)			紙	40点
113	大正12	1923	封筒_関東大震災新聞切り抜き			紙	『東京朝日新聞』『取共日日新聞』 亀戸事件に関する報道
114			布施勝治「労農露国より帰りて」切抜			紙	封筒入り
115			(封筒のみ 資料のメモ)			一括	
116			参考写真、大阪事件新聞切り抜き			一括	
100			漫文漫画 原画(66点)			紙	
118			小作人労働者漫画各機関紙掲載漫画原稿			紙	100点
119			望月桂漫画集原稿			紙	400点
120-1			(原稿) 百姓の対話	エルリコ・マラテスタ 藤原肇 訳		綴	
120-2			大杉栄の原稿冒頭部分「吾等の思想と行動」			罫紙	封筒あり
121			望月画「判らない金魚の糞 無用の長物」			紙	
122			望月画「海女はその日その日の命懸け」			紙	
123			望月画「自然は人生社会」			紙	
124			望月桂習作(力士などスケッチ 7点)			紙	
125			小林有也(こばやしうなり)写真			写真	
126	明治44	1911	(モノクロ写真)野沢中学卒業生 教師(杉山、日向、望月)			写真	裏書あり望月桂、野沢中学教員時代の写真

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
127			小林有也(こばやしうなり)写真(額付き)			写真	
128			山鹿泰治宛書簡など8点			一括	
129			東京労働運動会 自主的労働運動の促進			罫紙	
130	平成17	2005	望月明美宛封書	菊池明子		封筒	時の美術社の封筒を使用
131			望月明美封書(第一回・第二回黒耀会 目録、足立元氏論文 他)	足立元		一括	
132			望月明美宛封書(黒耀会展新聞記事 コピー)	足立元		一括	
133			望月桂スケッチ			一括	
136			小作人資料			一括	
138			英字新聞一括 Industrial solidarity			一括	
139			望月桂スケッチ			紙	
140			アルバム(青)			写真	破損
141			望月桂宛書簡入り 葉書2枚			葉書	
135-1	大正12・5・15	1923	小作人 第4号	発行編集兼印刷人 望月桂		紙	4部
135-2	昭和12・6・15	1937	小作人 第5号	発行編集兼印刷人 望月桂		紙	5部
135-3	大正12・7・15	1923	小作人 第6号	発行編集兼印刷人 望月桂		紙	1部
135-4	大正12・9・15	1923	小作人 第7号	発行編集兼印刷人 望月桂		紙	4部
135-5	大正13・4・15	1924	小作人 第9号	発行編集兼印刷人 望月桂		紙	4部
135-6			小作人 校正(第3号・第5号)			紙	
134-1	昭和2・9・10	1927	声明書	黒色青年連盟		紙	
134-2	昭和2・9・25	1927	声明書(汎太平洋労働組合会議を中心とする策動の真相を暴露し再び我等の態度を声明す)	関東黒色青年連盟		紙	
134-3			労働運動 第1号～7号			紙	
134-4			全国印刷工連合会機関紙 印刷工連合(25号～28号・30号・32号・36号)			紙	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
134-5			①関西労働者(創刊号) ②労働者(第1号～10号) ③民衆の力(第1号) ④黒(創刊号・第1号)			紙	
134-6			労働運動			紙	・「THE LABOR MOVEMENT」 (T10.12.26～)第1号～14号・ 「LABORISTA MOVADO」(T12.12.20 ～)第1号・3号・6～8号・10号
134-7			労働運動			紙	・「週刊」(T10.6.25～)第1号～5号・7 号～9号・11号・13号・「主幹大杉榮」 (T8.10.6～)第1号～3号・「THE LABOR MOVEMENT」(T9.2.1～)第 4号～6号
134-8	大正7	1918	労働新聞コピー(第1号～2号)			紙	
137-1			労働者 第2巻第1号(校正刷)			紙	
137-2	大正12	1923	労働者 第2巻第3号(校正刷・編集 用)			紙	
137-3	大正12	1923	労働者 第2巻第6号			紙	書き込みあり、校正刷りカ
137-4	大正12・8・ 10	1923	労働者 第2巻第7号(校正刷り)			紙	「消し方はうまくして呉れ」等の書き込 みあり
137-5	昭和2・1・1	1927	無差別 第三年 新年号			紙	
137-6	大正12・5・ 1	1923	鉦山労働者			紙	
137-7			無政府主義戦闘誌 黒旗 11月号(表 紙・裏表紙のみ)			紙	
137-8			東京労働運動 原稿コピー			一括	
137-9			東京美術学校写真コピー			紙	
137-10			内山愚童宛葉書コピー	余罪囚人	東京監獄在所 内山 愚童	紙	
137-11	大正7・3・ 10	1918	大杉栄葉書コピー	大杉 栄	望月 桂	紙	
137-12			漫画百年 25号(コピー)	東京漫画スケッチ会		紙	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
137-13			①黒耀会概要コピー15点(第1回～第4回) ②東京日々新聞・やまと新聞コピー(第2回黒耀回展覧会)			紙	
134-9			大会案内	全国大会準備委員会		紙	冒頭部分なし
134-10	大正15	1926	黒色青年(第1号～9号)	黒色青年連盟		紙	
134-11			自由連合新聞(第27号～32号・第50号)			紙	
151-1			モノクロ写真(集合写真 後ろ3列目、父團治 最後列巡査小野寺藤彦)			写真	
151-2			モノクロ写真(集合写真 望月團治写真 恩賜御林奉授式記念)			写真	
151-3			モノクロ写真(集合写真 豊科尋常高等小学校卒業 前例左端、望月桂)			写真	
151-4			モノクロ写真(集合写真 前列左より2、弟虎之助)			写真	
151-5			モノクロ写真(集合写真 望月團治写真 後列左より1、團治)			写真	後列左より1、團治
151-6			モノクロ写真(集合写真 立樹より左、後列3人目、父團治 東帯付右へ2人目、叔父勝一)			写真	
151-7			モノクロ写真(堤防普請の様子)			写真	
151-8			モノクロ写真(集合写真 前列左より3、望月團治)			写真	
151-9	大正12	1923	モノクロ写真(大正12年度卒業記念 最後列左より3、望月團治)			写真	
151-10			モノクロ写真(集合写真 前列左より3、望月團治 最後列左より3、望月勝一)			写真	
151-11			モノクロ写真(集合写真 前より3列目 中央望月團治)			写真	
151-12			モノクロ写真(塔の原から見た生坂の大城か)			写真	
154			雑誌『明正』(高島屋商店PR誌)			冊子	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
156			望月桂自筆ノート「独語 一言 入院と病後」			冊子	
158			原稿(桂子へ)			罫紙	
157			美校時代頃の原稿			罫紙	
163			俳画 湯の気したたる百日紅	望月桂		紙	
143			『自由連合』綴り			紙	
155	昭和47	1972	望月桂自筆ノート「義民加助」	望月桂		冊子	
142	大正11・7・10	1922	黒濤のコピー			紙	
162-1			思出漫歩に続いて随筆目次			紙	
162-2			犀川凡太郎 年賦			紙	青焼き原稿
159			落葉私語(ささやき) 目次下書き			紙	チラシの裏面を使用
160			人生漫描(望月桂 俳句)			紙	チラシの裏面を使用
161			チラシ裏面のメモ(控、社会漫画)			紙	
152			モノクロ写真 23点			写真	
153			①美術品写真 13枚 ②葉書3通(望月桂宛安川埋蔵/市川白紘宛/宛先なし) ③新聞切り抜き 4枚(乃木希典関係) ④未使用絵葉書(中村不折画伯と其作品/嗚呼忠臣乃木大将) ⑤第一号 乞食			一括	桐箱入り
164	昭和48・2・24	1973	①写真(元高島(株)明生寮生第一回睦会) ②元高島屋工業(株)明生寮生 第一回親睦会出席者名簿			一括	
165			明正寮慰安会写真(16枚)			写真	
166			明正寮 練成生活写真・メモ			一括	
167			カラー写真 20枚(望月桂 他)			写真	
168			モノクロ写真(明正寮の時代 余分な写真)			写真	
169			写真(青年学校 並 明正寮舎監時代)			写真	
170	昭和18・9・8	1943	中川路寛 書簡	中川路 寛	望月 桂	封筒	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
171	昭和52・ 12・15	1977	筆塚に語るなつかしの館画家 秘帖	日本漫画博物館 ま んが寺		冊子	
172	昭和50・7・ 22	1975	まんが寺	日本漫画博物館まん が寺		書籍	
173			写真(秋田旅行 十和田湖 スケッチ ブック)			写真	ネガあり
174	昭和47・. 5	1972	望月桂 まんが寺参拝記念写真			写真	
175			古川時雄氏より写真・書簡			一括	
176			アルバム(秋田旅行)			写真	信州大学医学部25周年記念アルバム を使用
177	昭和49・9・ 25	1974	望月桂宛 奥田恭司封書(準備会 ニュースNo.1)			封筒	
178	昭和21・4・ 20	1946	革命の研究	コスモス書店		冊子	メモ書きあり
179	昭和27	1952	百姓桂の絵を頒つ会(案内状・申込 書)			紙	
180	昭和27	1952	百姓桂の絵を頒つ会(画会の趣旨/絵 の種類/発起・賛助人)			綴	
181			百姓桂の絵を頒つ会 趣意書・発信名 簿			冊子	
182			百姓桂の絵を頒つ会 会計簿			綴	
183	平成12・9・ 30	2000	二〇世紀を事由に生きて 写真集 望 月百合子一〇〇歳のあゆみ	望月百合子写真集編 集委員会		書籍	・望月百合子略年譜・主要著作目録・ 望月百合子—その生と仕事 岡田孝 子のコピーあり
184	平成4・6・ 25	1992	中浜哲詩文集	黒色戦線社		書籍	
185	昭和3・2・ 20	1928	アナーキズム文研出版年鑑 一九二 八年版	社会評論社		冊子	
186			江川菊次郎資料メモ			紙	
187	平成2	1990	沓谷だより No.1・No.2			紙	
188			望月百合子「石川三四郎の人間像」原 稿コピー			紙	
189	6月6日	—	笠井千代書簡(望月百合子関係)	笠井千代	望月明美	封筒	
190	平成12・ 11・8	2000	黒 La Nigreco N-ro.3			冊子	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
191	昭和8	1933	LA REVVE ANARCHISTE			冊子	破損
192	昭和37・12・1	1962	満洲国協和会関係者名簿 昭和37年12月1日現在	大亜会		冊子	新聞切り抜き・写真・永井正名刺・望月百合子宛葉書が挟まっている
193-1	平成15・11	2003	江川菊次郎蔵書 目録説明書き			紙	本目録は江川菊次郎蔵書の一部として望月桂資料室一隅に保管の為収蔵したもの。2003.11江川蔵書、全38冊
194			共学文庫チラシ			紙	
195			漫画家 凡太郎後援会(趣意・凡太郎後援会発起人・申込書)	凡太郎後援会発起人一同		紙	11部
196			住所録 3冊			その他	
197	明治34	1901	スケッチ帖(望月桂14歳頃)			冊子	
198			スクラップ帳 2冊			冊子	東京美術学校校友会会報を使用
199			望月桂 東京美術学校頃の収集資料			一括	
200	明治29・2・21	1896	浅井忠編集 中等教育 彩画初歩 第七編	発行者 吉川半七		冊子	明治29年6月18日 文部省検定済中等学校図画科教科用書
201			望月桂 東京美術学校頃の収集資料(2)			一括	
202	明治33・2・10	1900	小山正太郎著 中等絵画 第壹編	成美堂書店		冊子	望月桂のサインあり
203	明治20・5	1887	小学習画帖 第一 小学校師範学校教科用書(明治20年5月再版)	文部省編集局蔵版		冊子	明治18年6月17日出版版權所有有届
204	明治18・6・17	1885	小学習画帖 第六 小学校師範学校教科用書	文部省編集局蔵版		冊子	
205	明治18・6・17	1885	小学習画帖 第四 小学校師範学校教科用書	文部省編集局蔵版		冊子	鉛筆書きで「望月桂用」と記載あり
206			小学習画帖 第一 小学校師範学校教科用書			冊子	裏表紙なし
207			高等小学校図書科生徒用教科書 橋本雅邦著并画 小学毛筆画 第四巻	東京文学社		冊子	
193-2			『サラリーマン同盟綱領規約』コピー			紙	2枚江川菊次郎蔵書
193-3			北海道一周観光団の集合について			紙	江川菊次郎蔵書
193-4	昭和2・6・15	1927	平等社パンフレット1 農民の新社会	石川三四郎		冊子	江川菊次郎蔵書

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
193-5	昭和2・11・15	1927	新ロシアの婦人	近藤栄蔵 無産社		冊子	江川菊次郎蔵書
193-6	昭和2・4・15	1927	無政府主義への道	伊串英治 名古屋労働社		冊子	江川菊次郎蔵書
193-7	大正14・2・25	1925	社会主義学説大要 無産社パンフレット(5)	堺利彦 無産社		冊子	大正15年2月20日三版江川菊次郎蔵書
193-8	大正11・10・25	1922	労働と資本 無産社パンフレット(2)	マルクス 堺利彦訳 無産社		冊子	大正12年5月20日再版江川菊次郎蔵書
193-9	大正11・10・23	1922	社会主義大意 無産社パンフレット(1)	堺利彦 無産社		冊子	江川菊次郎蔵書
193-10	昭和2・7・10	1927	日本俸給生活者組合連盟教育出版部編集 俸給生活者に訴ふ	日本俸給生活者組合連盟		冊子	江川菊次郎蔵書
193-11	昭和2・11・7	1927	無政府主義の立場から 強権主義の解剖 —マルクス主義とボルシェヴィキに就て—	武良二 編 朔風会		冊子	江川菊次郎蔵書
193-12	昭和2・2・5	1927	生きる権利と儲ける権利	吉田源蔵 進め社		冊子	江川菊次郎蔵書
193-13	大正11・12・3	1922	日本社会主義運動史 インタナショナルパンフレット2	荒畑寒村 編 インタナショナル社		冊子	江川菊次郎蔵書
193-14	昭和11・8・1	1936	二・二六事件 改造8月号別冊付録	改造社		冊子	江川菊次郎蔵書
193-15	大正15・8・30	1926	クロボトキン著 無政府主義の科学的基礎	朔風会		冊子	江川菊次郎蔵書
193-16	大正14・1・1	1925	ドイツのファシズム パンフレット(1)	ゲーテ・ボーリ 著 北浦千太郎 訳		冊子	江川菊次郎蔵書
193-17	昭和4・7・25	1929	エンリーコ・マラテスタ著 無政府主義組織論 附 無政府主義とサンヂカリズム	東京地底社		冊子	江川菊次郎蔵書
193-18	昭和2・2・10	1927	農民諸君に與ふ	神庭仲之介 進め社		冊子	江川菊次郎蔵書
193-19	昭和2・4・1	1927	黒き群 創刊号	黒き群社		冊子	江川菊次郎蔵書
193-20	昭和2・4・1	1927	土民芸術 創刊号	土民藝術社		冊子	江川菊次郎蔵書
193-21	昭和3・4・15	1928	解放戦線パンフレット1 改訂 ロシア無政府主義運動少史	解放新聞社		冊子	江川菊次郎蔵書

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
193-22	昭和2・3・4	1927	種蒔きパンフレット第一冊 自由連合主義の実行地	種蒔き社		冊子	江川菊次郎蔵書
193-23	昭和3・7・20	1928	クロボトキンの芸術観 [贅沢の要求]	クンスト社		冊子	江川菊次郎蔵書
193-24	大正13・11・10	1924	鶴鳴 パンフレット第一号	未来と青年社		冊子	議会利用反対論 佐藤護郎 著江川菊次郎蔵書
193-25	年代不詳	—	鶴鳴パンフレット第二号	未来と青年社		冊子	社会革命と政治運動 平岩巖 著江川菊次郎蔵書
193-26	昭和2・9・16	1927	マラテスタ著 無政府主義論	解放新聞社		冊子	江川菊次郎蔵書
193-27	大正15・8・1	1926	啓明パンフレット6冊 婦人からの抗議主として共産主義者に対する	高群逸枝		冊子	再版江川菊次郎蔵書
193-28	昭和2・9・1	1927	共学パンフレット(1) 土の権威	石川三四郎 共学社		冊子	江川菊次郎蔵書
193-29	昭和2・10・5	1927	共学パンフレット(2) 土民芸術論	石川三四郎 共学社		冊子	江川菊次郎蔵書
193-30	大正11・3・27	1922	水曜会パンフレットNo.11 メーデー	山川菊栄 水曜会出版部		冊子	大正13年4月20日 三版江川菊次郎蔵書
193-31	大正10・11・10	1921	水曜会パンフレットNo.5 タンクの水	山川等 水曜会出版部		冊子	大正12年6月30日 五版江川菊次郎蔵書
193-32	大正11・1・10	1922	水曜会パンフレットNo.8 賀川豊彦と社会主義	山川等 水曜会出版部		冊子	江川菊次郎蔵書
193-33	昭和2・2・9	1927	社会民衆党パンフレット特輯1 智識階級の行くべき道	小池四郎		冊子	江川菊次郎蔵書
193-34	昭和2・3・21	1927	社会民衆党パンフレットⅡ 俸給生活者保護法	小池四郎		冊子	江川菊次郎蔵書
193-35	昭和2・10・15	1927	黒進社パンフレット 経済運動と政治運動	黒進社		冊子	江川菊次郎蔵書
193-36	大正15・8・1	1926	啓明パンフレット第十一冊 土の国史 わが国土地問題の一考察	下中彌三郎 啓明会		冊子	江川菊次郎蔵書
193-37	大正15・8・1	1926	啓明パンフレット第十冊 原始労働論	エリ・ゼリユクリウ 原著 石川三四郎 訳 啓明会本部		冊子	江川菊次郎蔵書
193-38	昭和2・9・1	1927	啓明パンフレット第十六冊 婦人平和運動者へ 平和運動の真の目標	松下芳男 啓明会本部		冊子	江川菊次郎蔵書

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
193-39	昭和2・11・5	1927	共学パンフレット(3) 無政府主義とサンヂカリスム	石川三四郎 共学社		冊子	江川菊次郎蔵書
193-40	昭和3・1・1	1928	共学パンフレット(第四集) 原始生活の回復	石川三四郎 共学社		冊子	江川菊次郎蔵書
193-41	昭和3・3・10	1928	共学パンフレット(第五集) 弁証法的唯物史観の批評	石川三四郎『弁証法的唯物観の批評』共学社		冊子	江川菊次郎蔵書
208			大日本帝国古今風俗 寸陰漫稿	渡邊幽香		冊子	
209			南画帖			紙	
210			(図形の描き方メモ 用器画法等)			紙	
211			メモ・スケッチ(望月桂10代頃)			紙	
212			墨絵(望月桂10代頃)			紙	
213			書(望月桂10代頃)			紙	
214			望月桂 鉛筆デッサン9点			紙	「中一年 望月桂」と記載あり
215			望月桂 水彩画9点			紙	「中一年 望月桂」・「KM」の記載あり
216			望月桂 水彩画2点			紙	「M, KaTsuru」のサインあり
217			収集印刷物(浮世絵 他)			紙	
218			領収書(望月桂書会)・注文票(大円社印刷所)			紙	白紙
219			大円社時代原稿及び作品(たぬき、へちま)			一括	
220			仏・古画・写真類参考			一括	
221			書など一括			一括	
222	大正12カ	—	LA REVUO ORIENTA	日本エンペラント社		冊子	表紙・裏表紙欠落
223	大正12・11・20	1923	大正震災唱歌	宮内省御歌所寄人 武島又次郎 作歌 東京音楽学校教授 岡野貞一 作曲 東京学舎 発行		冊子	
224			農事控			冊子	昭和50年代作付面積等
225	昭和	—	納税控 作付計画並諸申告控			冊子	
226			①黒耀会概要(望月桂との関係) ②黒耀会展覧会 会期・会場 ③読売新聞等コピー(19枚)			紙	望月明美宛 時の美術社の封筒入り

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
227	平成18・4・28	2006	望月明美宛 大杉豊封書	大杉豊	望月明美	紙	①手紙②写真(野澤恵美子歌碑)③黒耀会研究ノート 足立元(「トスキアナ」第2号 05.10)コピー 2部④「民衆芸術展」と黒耀会 大杉豊(「トスキアナ」第3号 06.4)コピー 3部他
228	平成18・1・10	2006	仏種を植ゆる人 ―内山愚童の生涯と思想― 曹洞宗ブックレット 宗教と人権⑧	曹洞宗人権擁護推進本部		冊子	池田千尋氏より望月明美氏に謹呈
229			①「やまなし金子文子研究会」入会のお誘い ②大逆罪弾圧ニュース 07-No.1 (2007年1月27日発行 亀田博) ③「日本帝国陸軍と精神障害兵士」抜き刷りコピー(陸軍懲治隊と陸軍教化隊)			一括	(資料名続き)④「大杉榮の個人主義―他者論の観点から―」飛矢崎雅人(政治研究論集第17号2003・2抜刷) 2部⑤「金子文子と中西伊之助④」亀田博(洛南タイムス 2006年10月19日 コピー)
230			「大逆事件」の犠牲者を検証する会書簡(「大逆事件」顕彰碑建立の寄附御礼)	「大逆事件」の犠牲者を検証する会	望月明美	封筒	
231	平成12	2000	初期社会主義研究会 松本大会資料・大逆事件関係新聞記事 等			一括	
232	平成15	2003	「大逆事件」の犠牲者を検証する会封書(大逆事件顕彰碑新聞記事)	「大逆事件」の犠牲者を検証する会	望月明美	一括	
233	平成13・10・31	2001	90年を経て『「大逆事件」の犠牲者を顕彰する会』設立より新宮市の顕彰決議まで	「大逆事件」の犠牲者を顕彰する会		冊子	
234			①大逆事件ニュース(第32号・第39号～45号) ②南の窓	①大逆事件の真実をあきらかにする会 ②「大逆事件」の犠牲者を顕彰する会		一括	
235			「大杉榮と望月桂」(初期社会研究機関紙 第15号「大正、千駄木、大杉」)	望月明美		紙	
236			「大杉榮と望月桂」(原稿と資料)	望月明美		一括	
237			①「関東大震災70周年 大杉榮と仲間たち」図録(1993年) ②初期社会主義研究 第15号(望月明美「大正・千駄木・大杉」訂正加筆あり) ③八十二文化財団 望月桂展 企画書・ハカギ			一括	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
238			「東京労働運動員会」原稿コピー			紙	
239	平成10・8・1	1998	ルイズその旅立ち 製作・監督・脚本 藤原智子	「ルイズ」製作委員会		冊子	2部
240			「大杉栄と望月桂」原稿・校正	望月明美		一括	
241			谷中地図(望月明美による調査)			絵図・地図	
242			谷中・千駄木資料(古河三樹松より)			一括	
243			「人生漫步の足跡」目次・「随筆」メモ・「筆」目次			紙	
244	昭和50	1975	望月桂回顧展 昭和50.4.15～50.5.10	信州新町美術館		紙	
245			望月桂作品写真 35枚			写真	
246	昭和48	1973	まんが寺求真 米寿 凡太郎特集	まんが寺		紙	
247	平成16・9・11	2004	「トスキアナ」準備号『日本アナキズム運動人名辞典』訂正と追補・掲載	トスキアナの会		冊子	
248	平成14	2002	初期社会主義研究 第15号 特集 大杉栄	初期社会主義研究会		冊子	4部
249	昭和46・1・24	1971	反逆者の牢獄手記 大正末期から昭和初めにかけて失われたわが無政府主義者の牢獄手記	黒色戦線社		冊子	
250	平成16・11・28	2004	初期社会主義研究 第17号	初期社会主義研究会		書籍	「初期社会主義研究会事務局通信第57号」挟み込み
251	昭和57・10・1	1982	日本無政府主義運動史 第一編	黒色戦線社		書籍	第二版
252	昭和54	1979	日本無政府主義運動史 第二編	鈴木靖之 著 黒色戦線社		書籍	
253			朝日新聞大阪本社 永井靖二からの封書(掲載紙の送付)	永井靖二	望月明美	一括	2007年5月13日 朝日新聞
254			(社会主義者 冊子)			冊子	
255			望月百合子資料(新聞コピー・現代女性文化研究所ニュースNo.17)			一括	
256	大正13	1924	大正十三年教育家日記			冊子	大正11年用日記を修正、3月13日より
257	昭和15	1940	日記(昭和十五年3月より5月迄ノ日記)	福カ		冊子	小型メモ帳・佳子の描いた絵
258	昭和15	1940	日記(昭和拾五年六月十日より拾壹月拾五日迄記す)	福カ		冊子	10月30日付明美ハガキあり

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
259	昭和15	1940	日記(昭和拾五年十一月十六日より昭和拾六年の日記)	福カ		冊子	
260	昭和17	1942	日記(昭和十七年六月始より)	福カ		冊子	
261	昭和18	1943	日記(昭和拾八年11月24日より翌年七月)	福カ		冊子	望月福子あて封書・ハガキ2枚
262	昭和20		日記(昭和貳拾年元旦より3月頃迄記す、昭和二十四年元旦より記始む)	福カ		冊子	
263	昭和30		日記(昭和三十年四月二十五日より十月十五日まで記録)	福カ		冊子	
264	昭和30		日記(昭和三十年十月十六日より昭和三十一年七月十一日まで記録)	福カ		冊子	家族写真6枚
265	昭和31		日記(昭和三十一年八月一日より同十二月十三日迄記録)	福カ		冊子	
266	昭和32		日記(昭和32年3月4日より11月16日迄記す)	福カ		冊子	桂宛封書(小諸・中村清三より)
267	昭和32		日記(昭和32.11.17日より〃33.10.31日迄)	福カ		冊子	
268	昭和33		日記(昭和33年11月1日より〃34年12.20迄記録)	福カ		冊子	
269	昭和34		日記(昭和34年12月21日より36年2月16日迄記録)	福カ		冊子	
270	昭和36		日記(昭和36.2.17日より12月31日迄記録)	福カ		冊子	
271	昭和37		日記(昭和37.1.1日より〃10.29日まで)	福カ		冊子	
272	昭和37		日記(昭和37.10.30日より〃10.4日迄記す)	福カ		冊子	
273	昭和38		日記(昭和38.10.5日より〃39.12.21日迄記す)	福カ		冊子	
274	昭和39		日記(昭和39年12.22日より40年～41年6月4日迄記す)	福カ		冊子	
275	昭和41		日記(昭和41年6月5日より42年8月10日迄記す)	福カ		冊子	ふく宛ハガキ(薄井うめ)・桂宛封書(薄井邦介)
276	昭和42		日記(昭和42年8月11日より〃43年10月16日迄記す)	福カ		冊子	ハガキ6通(ふく・桂宛、木曾薄井桂子うめ)
277	昭和43		労務日誌(昭和43年より)			冊子	農作業労賃全記録(昭和52年まで)

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
278	昭和25		雑記帳	明美カ(サインあり)		冊子	
279	昭和29		メモ帳(スケッチあり・1954年)			冊子	
280	昭和30		スケッチカード(1955年・山行記録・スケッチ)			冊子	
281	昭和32		雑記帳(散文的ノート・1957年)			冊子	
282	昭和32		スケッチカード(1957年・燕岳山行記録・岐阜・麻績ほか・山岳スケッチ)			冊子	
283	昭和33		メモ帳(スケッチあり・1958年)			冊子	
284	昭和33		スケッチブック(1958年・新潟寄居濱、柏崎ほか)			冊子	
285	昭和36		スケッチカード(1961年・奈良・大阪風景、北安曇郡遠見尾根ほか)にメモ			冊子	
286	昭和33		スケッチカード(1958年・新潟・松本など)			冊子	
287	昭和33		スケッチブック(1958年・自身の山行記録メモ、12回分、ほかスケッチ)			冊子	
288	昭和39		スケッチカード(1964年・スケッチ・雑文)			冊子	
289	昭和36		スケッチブック(1961ほか複数年にわたるスケッチ)			冊子	赤ん坊の絵のハガキ、差出人不明
290	不明		スケッチブック(雑記帳、スケッチわずか)			冊子	
291	不明		スケッチブック(雑記帳、メモ書き、押し花)			冊子	
292	不明		スケッチブック(スケッチ2点)			冊子	1946年の水彩画、台紙に望月明美とある国立療養所絵葉書
293	昭和44		スケッチブック(スケッチ1点)			冊子	
294	昭和35～		スケッチブック(スケッチ・八ヶ岳、白馬大雪渓ほか)			冊子	
295	昭和33		スケッチブック(スケッチ・各地風景、北陸線車窓、大磯ほか)			冊子	
296	不明		メモ用紙(アイヌ語学習の跡?)			冊子	
297	明治43～		家業・家産関係書類(父団治・桂の借用書、製材所、蚕業、領収証類ほか)			冊子	
298	不明		色紙(2枚、水墨画風の幼子)			冊子	昭和11年、桂名義で多数の借入

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
299	昭和16		日記(昭和16年3月27日より11月14日迄) 日きおかあさんの	福子カ		冊子	
300	昭和16		日記(昭和16年11月15日より記す)	福子カ		冊子	
301	昭和18		日記(昭和18年1月より記す11月23日まで)	福子カ		冊子	
302	昭和32		メモ帳(1957年)			冊子	
303	昭和11		日記(昭和11年1月1日-4月10日)	福子カ		冊子	和紙紐綴じ、41歳の新年とあり
304	昭和11		日記(昭和11年5月1日-6月12日)	福子カ		冊子	和紙紐綴じ
305	昭和13		日記(昭和13年11月14日より14,15年度,3月9日迄日記)	福子カ		冊子	
306	昭和29		日記(昭和29.12.25~30.4.24迄記す)	福子カ		冊子	表紙にa.mochizukiとあるも、福子日記か
307	大正2		日記(大正2年用日記帳)			冊子	冊子様・殆ど白紙、住所録・金銭出納記録
308	大正2		日記(大正2年のノート断簡)			冊子	断簡
309	明治45		日記(明治45年元旦~12月31日) 1/1~1/12脱落、補遺あり			冊子	冊子様
310	大正3		日記(大正3年1/1~12/31)			冊子	冊子様
311	昭和20		犀川日誌(①昭和20年5月~昭和25年12月31日)			冊子	
312	昭和26		犀川日誌(②昭和26年1/1~昭和27年12/31)			冊子	
313	昭和28		犀川日誌(③昭和28年1/1~昭和31年3月)			冊子	※末尾に年譜を記す
314	明治32		(学生時代のノート)作文帳	中川手村高等三学年 生 望月桂		冊子	
315	不明		(学生時代のノート)西洋考古学_久米桂一郎先生述			冊子	
316	不明		(学生時代のノート)無題(東京美術学校時代か)			冊子	
317	昭和16		昭和16年日誌_舎監			冊子	
318	昭和17		昭和17年日誌_舎監			冊子	
319	昭和17		昭和17年6月_日誌_舎監			冊子	
320	昭和17		昭和17年10月_日誌_舎監			冊子	
321	昭和18		昭和18年2月_日誌_舎監			冊子	
322	昭和19		昭和19年1月_日誌_舎監			冊子	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
323	昭和19		昭和19年4月_日誌_舎監			冊子	
324	昭和19		昭和19年7月_日誌_舎監			冊子	
325	昭和17	1942	昭和17年善行録_鍊成寮			冊子	
326	昭和46	1971	落葉の私語(ささやき) (1)			冊子	
327	昭和47		落葉の私語(ささやき) (2)			冊子	
328	昭和47～ 50		落葉の私語(ささやき) (3)			冊子	
329	昭和50		落葉の私語(ささやき) (4)			冊子	
330	明治20		桂記録年譜(1)明治20-大正12			冊子	
331	大正12		桂記録年譜(2)大正12-昭和32			冊子	
332	昭和32		桂記録年譜(3)昭和32-49.4			冊子	
333	昭和49		桂記録年譜(4)昭和49年5月より			冊子	
334	昭和49		望月桂年譜メモ余生録(控)昭和49.8以後			冊子	
335	昭和41		老ひの句等誌 退屈日誌(1)			冊子	
336	昭和44		老いの句等誌(2)昭和44～45年			冊子	
337	昭和46～ 49		老いの句等誌(3)昭和46,47,48,49			冊子	
338	昭和50		老いの句等誌(4)昭和50.1～			冊子	
339	昭和34		手帳(1959年の手帳)			冊子	
340	昭和37		手帳(1962年の手帳)			冊子	
341	昭和38		人生漫歩の足跡 思い出 その1			冊子	
342			人生漫歩の足跡 思い出 その2 青年期			冊子	
343			人生漫歩の足跡 思い出 その3 美校時代			冊子	
344			人生漫歩の足跡 思い出 その4 美校時代と卒業の頃			冊子	
345			人生漫歩の足跡 思い出 その5 (松本五十聯隊との関係～)			冊子	
346			人生漫歩の足跡 思い出 その6 (大杉の死、和田久太郎のこと等)			冊子	
347			人生漫歩の足跡 思い出 その7 (読売新聞社のことなど)			冊子	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
348			人生漫歩の足跡 思い出 その8 (笹塚時代)			冊子	
349			人生漫歩の足跡 思い出 その9 (舎監時代・信州への疎開)			冊子	
350			人生漫歩の足跡 思い出 その10(農業・松南教員時代)			冊子	
351			人生漫歩の足跡 思い出 その11(松南教員時代・各地への旅行)			冊子	
352	昭和44		随筆1(思出漫歩につづいて)_1969			冊子	
353	昭和45		随筆2_1970			冊子	
354	不明		随筆3-1(俺と漫画の道行き)			冊子	
355	昭和46	1971	随筆3-			冊子	
356	昭和46		随筆4			冊子	
357	昭和46		随筆5			冊子	
358	昭和46		随筆6_1971.10			冊子	
359	昭和46	1971	随筆7_1971.10			冊子	
360	昭和47		随筆8_1972			冊子	
361	昭和47		随筆9_1972-1973			冊子	
362	昭和47		随筆10_1973			冊子	
363	昭和47		随筆11_1973-			冊子	
364	昭和47		随筆12_1973-1974			冊子	
365	昭和49		随筆13_1974-			冊子	
366	昭和49		随筆14_1974.8-1975			冊子	
367	昭和50		随筆15_1975			冊子	
368	昭和50		随筆子育て地蔵16_1975.8			冊子	
369	昭和50	1975	随筆子育て地蔵17_1975.9			冊子	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
370			書簡・原稿保存用封筒			封筒	■封筒表書 ・ぼん太郎(消線)・望月桂・漫画用(傍線)・漫文漫画(漫画に消線)・和田兄の原稿(傍線)・原稿 ■封筒裏面に人物横顔スケッチ(鉛筆画) ■封筒サイズ 31×28.5 ※封筒内容物は「原稿類」No.371-1～371-1
371-1	大正14	1925	和田久太郎原稿 ①影法師 ②冬からす ③あられ ④かみつむり ⑤蚤 ⑥風変りな風呂 ⑦キタナイ歌 (以上7編)	和田久太郎		罫紙	7編、200字詰め原稿用紙に各編2～9枚。①～⑦を紐綴じして合本。桂による筆写か。※No.370の封筒に一括、No.371-0の目次に「和田久の童謡と漫文」が該当するか
371-2			望月桂原稿「久の字の友人二人のあら拾い骨拾い」	望月桂		罫紙	200字詰め原稿用紙に18枚。(久坂卯之助についての随筆)※No.370の封筒に一括、No.371-0の目次にあり
371-3			望月桂原稿「蟹の国」	望月桂		罫紙	200字詰め原稿用紙、32枚、紐綴じ※No.370の封筒に一括、No.371-0の目次にあり
371-4			望月桂原稿「はし書き」			罫紙	200字詰め原稿用紙、6枚、※年不詳であるが、「和田久太郎氏の遺稿の中より…」の一文があり、1928年以降のものと思われる。※No.370の封筒に一括、No.371-0の目次にあり
371-5			望月桂原稿「當と落 當選した凸山」「落選した凹山」	望月桂		罫紙	200字詰め原稿用紙、各2枚。「当選した…」「落選した…」の2部構成※No.370の封筒に一括、No.371-0の目次にあり
371-6			望月桂原稿「お天道様も人が悪い」	望月桂		罫紙	200字詰め原稿用紙、8枚、同名・同内容の原稿がNo.371-11。校正の様子から、371-6が元原稿か。※No.370の封筒に一括、No.371-0の目次にあり
371-7			望月桂原稿「失業防止」	望月桂		罫紙	400字詰め原稿用紙7枚※No.370の封筒に一括、No.371-0の目次になし
371-0			目次	望月桂		罫紙	200字詰め原稿用紙4枚。No.371-1～の中に原稿のないものも多数。※何の目次か、出版物の名称不明、「はし書き」・「口絵、或る日の俺の気持ち、製紙工女」…)

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
371-8			望月桂原稿「貧乏籤」	望月桂		罫紙	200字詰め原稿用紙8枚※No.370の封筒に一括、No.371-0の目次にあります
371-9			望月桂原稿「ボーナス」	望月桂		罫紙	200字詰め原稿用紙10枚※No.370の封筒に一括、No.371-0の目次にあります
371-10			望月桂原稿「失業防止(2)」「失業防止(3)」	望月桂		罫紙	(2)200字詰め原稿用紙6枚、(3)200字詰め原稿用紙9枚。※(1)無し※No.370の封筒に一括、No.371-0の目次になし
371-11			望月桂原稿「お天道様は人が悪い」	望月桂		罫紙	200字詰め原稿用紙5枚、題字横に「自由聯合」三面漫画と朱書き※No.370の封筒に一括、No.371-0の目次にあります
371-12			望月桂原稿「眼病」	望月桂		罫紙	200字詰め原稿用紙17枚※No.370の封筒に一括、No.371-0の目次にあります
371-13			望月桂原稿「俳人囚人で通った、つぼらの久太事(和田久太郎君)」	望月桂		罫紙	200字詰め原稿用紙19枚※No.370の封筒に一括、No.371-0の目次に欠
372-0			(書簡入り封筒・封筒のみ)表書き「秋田よりの便り入」			封筒	アルス社用封筒、
372-1	大正13	1924	書簡(和田久太郎から望月桂宛)	和田久太郎	望月桂	葉書	封緘葉書(郵便書簡)8通、普通葉書1通(すべて市ヶ谷刑務所から投函)日付(T13年…12/26、T14年…2/10・4/29・5/8・5/27・6/3・9/18、年不明…12/8)
372-2	大正14	1925	書簡(和田久太郎から望月福子宛)	和田久太郎	望月福子	葉書	封緘葉書(郵便書簡)7通、すべて市ヶ谷刑務所にて投函日付(T14年…1/22・2/4・2/16・2/16・5/14・5/14・9/5 ※同日付は続編)
272-3	大正13	1924	書簡(和田久太郎から中村しげ子宛)	和田久太郎	中村しげ子	葉書	葉書・封緘葉書(郵便書簡)、計 通日付(T13年…11/3、T14年…1/15・2/14・2/23・2/23・3/4・3/13・3/20・3/27・3/28・4/2・4/6・4/15年不明…12/8)

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
372-3	大正14	1925	書簡(和田久太郎から中村しげ子宛)	和田久太郎	中村しげ子	葉書	封緘葉書(郵便書簡)51通、※ T15.8.10付は秋田刑務所、他は市ヶ谷刑務所投函日付(T13年…11/3、 T14年…1/15・2/14・2/23・2/23・3/4・ 3/13・3/20・3/27・3/28・4/2・4/6・ 4/15・4/20・4/22・4/27・4/27・5/1・ 5/4・5/6・5/12・5/16・5/19・5/27・ 6/5・6/8・6/12・6/15・6/17・6/19・ 6/24・6/26・6/29・7/1・7/3・7/6・ 7/10・7/15・7/17・7/24・7/29・7/30・8
372-4	大正14	1925	書簡(封書・和田久太郎から望月桂宛)1通	和田久太郎	望月桂	封筒	大正14年9月19日付け、市ヶ谷刑務所にて投函
372-5	大正14	1925	書簡(封書・和田久太郎から望月福子宛)1通	和田久太郎	望月福子	封筒	大正14年6月10日付、市ヶ谷刑務所にて投函
372-6	大正14	1925	往復書簡(和田久太郎・中村しげ子間、2通)	中村しげ子・和田久太郎	和田久太郎・中村しげ子	封筒	中村→和田・9月4日付、和田→中村・9月18日付(市ヶ谷刑務所にて投函)
372-7	大正15	1926	書簡(封書・和田久太郎から中村しげ子宛)10通	和田久太郎	中村しげ子	封筒	封筒には通信用箋。投函はすべて秋田刑務所(秋田市川尻町毘沙門後86 ※昭和2年からは川尻町総社前9-2)日付:大正14年…12月13日 大正15年…2月11日・4月11日・6月10日 昭和2年…1月9日・3月13日・5月14日・7月3日・11月10日 昭和3年…1月9日※S2.9.20付の書簡は重要に付きNo.372-8に別置
372-8	昭和2	1927	書簡(中村しげ子宛、和田久太郎書簡・封筒入り・昭和2年9月20日付)	和田久太郎	中村しげ子	封筒	久太郎の懺悔記あり。自死の背景をうかがわせる。秋田刑務所より
373	昭和4	1929	スケッチブック(力士スケッチ)			冊子	昭和4年春場所番付表
374			押花帳・押花カード(4冊)			冊子	押花カードは封筒入り
375			雑記帳(住所録あり)			冊子	
376	昭和13	1938	『東京市町会時報』(自治記念日特輯号・第三卷第七号) ※表紙絵・犀川凡太郎	東京市役所		冊子	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
377	大正7	1918	スクラップブック「レーニン伝」(東京日日新聞・巨樽生)1～49、「独逸社会党の人々」1～8、「生物学上より観たるデモクラシー(アイルランド氏の所説)」1～5	東京日日新聞		冊子	薄紙に切り抜き貼付、空きページに日記風の書付あり
378			葉書類 ①進々堂・年賀はがき(S8) ②阿部虎雄・年賀はがき(S6) ③長崎団節・飯塚鉱業所絵葉書(年不明) ④同人・長門峡絵葉書(年不明) ⑤塔之原・月清より招魂祭絵葉書(年不明)		望月桂	葉書	
379			書簡(便箋2枚)	望月桂	青木・内川両君	紙	養蚕についての注意事項
380			長野県内観光絵葉書(一包)			絵葉書	一括登録
381			県外観光絵葉書			絵葉書	二分割で保存(381-1・381-2)
382			歴史的事項に関する絵葉書			絵葉書	①松本飛行場 ②横須賀海軍 ③明治天皇大葬 ④吉田松陰・松陰神社 ⑤各兵科教育漫画 ⑥故乃木将軍記念(甲種・乙種・丙種) ⑦三菱銀行
383			東京芸術学校 卒業生名簿			紙	部分コピー2枚(明治41年～明治44年)×2部保存※望月桂・明治43年3月選科卒業)
384	平成20	2008	大逆事件の真実をあきらかにする会ニュース(第47号・48号・49号)	大逆事件の真実をあきらかにする会		冊子	47号・49号は各2部保存
385	平成15	2003	「南の窓」	「大逆事件」犠牲者を顕彰する会		紙	6号('03.1)・14号('04.10)・15号('04.12)・16号('05.8)・17号('05.12)・18号('06.8)・21号('07.6)・22号('07.9)・23号('08.1)
386	平成21	2009	朝日新聞「ニッポン人・脈・記 大逆事件残照」	朝日新聞		紙	①('09.5.20)～③(5.22)、⑤('09.5.26)～⑦(5.28)、⑨('09.5.30)・⑫('09.6.4)～⑭(6.6) ※以上10回分
387	平成22	2010	朝日新聞「ニッポン人・脈・記 紙と国の間」	朝日新聞社		紙	紙面残存 ①('10.1.31)～⑤('10.2.5) コピーで保存①～⑩(年月日不明)

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
388	昭和50	1975	「望月桂回顧展」資料(信州新町美術館封筒入り)	信州新町美術館	望月明美	封筒	昭和50年4月15日～5月10日開催の美術展に関する資料、明美氏収集回顧展目録・作品写真(アルバム・ネガ)・新聞記事・参観者芳名帳(コピー)※望月明美氏資料
389			小説『大逆事件』(コピー・部分P243～)	佐木隆三		紙	望月明美氏資料
390			大逆事件関係資料①			紙	クリアファイルほか、コピー等※望月明美氏資料
391			大逆事件関係資料②(雑誌『世界』「大逆事件100年の道ゆき」コピー)	田中伸尚		紙	連載中、二・七・八・九・一〇・一一・一二・一三の各回※望月明美氏資料
392	平成14	2002	大逆事件関係資料③			紙	※望月明美氏資料、市民タイムス(特集「臼井吉見の『安曇野を歩く』より大逆事件関連部分、平成16年)、石山幸弘「大逆事件の飛沫(一)」(抜刷・平成14年3月群馬県立土屋文明記念館紀要)、大逆事件説明板(明科)関連メモなど
395	平成13	2001	望月桂作品「稔りの秋」修復に関する資料	修復研究所ほか	望月明美ほか	封筒	作品修復の見積等について、修復研究所と望月明美氏とのやりとり修復研究所封筒に一括保存※望月明美氏資料
394	平成12	2000	市立小樽美術館「前衛と反骨のダイナミズム展」関連資料	市立小樽美術館ほか	望月明美ほか	紙	2000年6/4～7/23に開催された上記展示会に協力、関連資料を送付される。(桂の作品が出品されたかは不明、展覧会チラシ・美術館報ほか一括保存※望月明美氏資料)
393			大逆事件関連資料③	望月明美氏ほか		紙	※望月明美氏資料新聞記事、明美氏原稿ほか
396	平成22・4・12	2010	大逆事件の真実をあきらかにする会ニュース 第1号—第48号	大逆事件の真実をあきらかにする会		書籍	
397	昭和39・6・10	1964	彫刻真髓 荻原守衛	中央公論美術出版		書籍	昭和46年2月25日再版
398	大正11・6・1		月刊 民衆 六月号(第一巻 第二号)	民衆社		冊子	表紙に「桂漫画」の記載あり
399	大正11・5・1		月刊 民衆 五月創刊号(第一巻 第一号)	民衆社		冊子	表紙に「桂漫画」の記載あり
400-1			研究紀要 その一 絵画教室メモの中から	望月桂		冊子	印刷製本

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
400-2			(原稿)研究紀要 その一 絵画教室メモの中から	望月桂		綴	松本松南高等学校の罫紙使用
400-3			人間形成と絵画教育	松南高等学校 望月桂著		冊子	4冊、ガリ版刷り、うち1冊に「絵画教育による実績例 各名簿控」の挟み込みあり
400-4	昭和37・12・1		昭和三十七年十一月現在 会員名簿	松本松南高等学校同窓会		冊子	裏表紙に「望月桂の美術担当生徒 昭和三十一年卒業四十三年までであった」の記載あり
400-5	昭和37・8		(原稿)昭和三十七年八月 絵画指導と人間形成	望月桂		綴	
400-6			(原稿)美術強化の重点的内容	(望月桂)		綴	
400-7			(原稿)指導要領			綴	松本松南高等学校の罫紙使用
400-8			望月桂デッサン			紙	松本松南高等学校の罫紙等の裏面を使用
400-9			(原稿)昭和三十三年度 絵画と各教科との関連性 総括資料	(望月桂)		綴	「桂」の印あり
400-10			絵画指導 上 絵画作品未提出者の扱い及び絵画応用について	望月桂		綴	ガリ版刷り、2部
400-11	昭和35・1		(原稿)美術を主とした私の観賞と鑑賞	望月桂		綴	昭和35年1月再稿松本松南高等学校の罫紙使用
400-12			夏期休暇(自七月二十一日至八月二十日)について	松本松南高等学校		紙	
401-1			(原稿)東洋美術歴史の変遷と各流派 日本画鑑賞	望月桂		綴	
401-2			(原稿)西洋美術史	(望月桂)		綴	長野県松筑地方事務の罫紙を使用
401-3			(原稿) ①美学概要と芸術と道徳 ②表現派の芸術	望月桂		綴	
401-4			(原稿)洋画の諸派	(望月桂)		綴	
401-5			(原稿)美術教案(一、講演 二、技術指導と練習)	松本松南高等学校		綴	
401-6			講義原稿			一括	
402-1			(原稿)日本画と漫画	望月桂		綴	
402-2			(原稿)人間形成と絵画教育	望月桂		綴	松本松南高等学校の罫紙使用
402-3	昭和34・8		(原稿)美の観賞についての雑感 総論、意義、態度、方法	望月桂		綴	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
402-4			(原稿) 絵画指導 上 絵画作品未提出者の扱い及び絵画応用について	望月桂		綴	校正あり
402-5	昭和33		①絵画構成の空間について・タッチについて ②日本が特徴・日本画の一般的分類と変遷			紙	
403			東京パック	東京パック社		冊子	・第20巻第1号(昭和6年1月1日発行)2部・第20巻第10号(昭和6年10月1日発行)1部・第18巻第7号(昭和4年7月1日発行)1部・第18巻第10号(昭和4年10月1日発行)1部・第21巻第7号(昭和7年7月1日発行)1部・第20巻第7号(表紙・裏表紙なし)1部・第21巻第1号(昭和7年1月1日発行)1部・第21巻第8号(昭和7年8月1日発行)1部
404			読売サンデー漫画(読売新聞付録)	読売新聞		紙	
405			紙箱 シールとレーベル	日本紙器製造株式会社		冊子	表紙に「望月桂図案□□□」の記載あり
406			パレット社 新聞広告切抜			冊子	
407			(土円社時代 原稿並印刷)			冊子	
408			第五十六議会 其他 漫画漫文 読売新聞掲載			冊子	昭和3年～昭和4年
409		1954	スペイン革命(一九三六―三九) ― C・N・Tを中心として―	久保 譲		冊子	2部
410	大正14・12・20		「祖国と自由」獄月号 中濱鐵著作集 黒パン(第一集)	文明批評社		冊子	
411	昭和4・5・30		共学パンフレット(第六集) 農民の福音	赤羽一 共学社		冊子	2部
412	昭和3・9・1		無政府主義文芸雑誌 黒色文芸 10月(第一巻第一号)	黒色文芸社		冊子	
413	昭和7・5・20		日本無政府主義運動史 第一分冊 第一編	鈴木靖之 黒色戦線社		冊子	初版
414	昭和4・2・12		平民の鐘	ポール・ベルテロー 著 山鹿泰治訳 東京地底社		冊子	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
415	昭和3・11・1		マフノの農民運動	石川三四郎 東京地底社		冊子	
416	昭和5・11・18		無政府主義戦闘誌 黒旗 第二巻第十号	黒色戦線社		冊子	表紙なし
417	昭和2・1・1		労働運動 革新号	労働運動社		冊子	
418	昭和2・2・1		労働運動 二月号	労働運動社		冊子	2部
419	昭和2・6・1		労働運動 六月号	労働運動社		冊子	2部
420	昭和2・3・1		労働運動 三月号	労働運動社		冊子	
421	昭和2・5・1		労働運動 メーデー号	労働運動社		冊子	
422	昭和2・4・1		労働運動 四月号	労働運動社		冊子	
423	大正13・3・1		労働運動 大杉栄・伊藤野枝・追悼号	労働運動社		冊子	
424	1999・2・5	1999	妖婦 下田歌子 「平民新聞」より	解説 山本博雄		書籍	
425	1989・5・1		続・アナキズム女性解放論集	高群 逸枝 黒色戦線社		書籍	
426	1986・9・15		アナキズム	玉川信明		書籍	
427	1985・5・25		大杉栄	竹中 労		書籍	
428	1994・3・24		谷中スケッチブック 心やさしい都市空間	森まゆみ		書籍	
429	平成14		望月桂展 出品目録・望月桂年譜	八十二文化財団		紙	
430	平成14		望月桂展 ポスター	八十二文化財団		紙	
431			(ポスター)大杉栄と仲間たち 関東大震災70周年	大震災・大杉栄と仲間たち展実行委員会		紙	6枚
432			(原稿)『黒色青年』の歴史	古川時雄		紙	
433-1	昭和13・4・5		漫画雑誌 バクショー 創刊号	爆笑社		冊子	
433-2	昭和13・5・5		漫画雑誌 バクショー 六月号	爆笑社		冊子	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
433-3	昭和13・6・5		漫画雑誌 バクショー 七月号	爆笑社		冊子	
433-4	昭和13・7・5		漫画雑誌 バクショー 八月号	爆笑社		冊子	
433-5	昭和13・8・5		漫画雑誌 バクショー 九月号	爆笑社		冊子	
433-6	昭和13・9・5		漫画雑誌 バクショー 十月号	爆笑社		冊子	
433-7	昭和13・11・15		漫画雑誌 バクショー 十二月号	爆笑社		冊子	
433-8	昭和13・12・15		漫画雑誌 バクショー 新年号	爆笑社		冊子	
433-9	昭和14・2・15		漫画雑誌 バクショー 美人号	爆笑社		冊子	
433-10	昭和14・4・5		漫画雑誌 バクショー 皇軍感謝号	爆笑社		冊子	
433-11	昭和14・7・10		漫画雑誌 バクショー 鍛錬号	爆笑社		冊子	
433-12	昭和14・10・5		漫画雑誌 バクショー 十月号	爆笑社		冊子	
433-13	昭和14・11・5		漫画雑誌 バクショー 第二巻第八号	爆笑社		冊子	
433-14	昭和14・12・5		漫画雑誌 バクショー 新年号	爆笑社		冊子	
433-15	昭和14・6・5		漫画雑誌 バクショー 六月号(コピー)	爆笑社		紙	
434			関東大震災関係地図 他			一括	
435	1987・9・25		彷彿月刊 第3巻第10号 特集 安曇野	弘隆社		冊子	
436	大正15・6・19		革命の研究	クロボトキン 著 大杉栄 訳 労働運動社		冊子	書き込みあり(古川時雄氏カ)
437	昭和52・4・15		理論と研究の総合美術誌 美術グラフ 特集・望月桂	時の美術社		冊子	2冊
438	昭和47・8・1		理論と研究の総合美術誌 美術グラフ 特集＝前半期の美術展	時の美術社		冊子	2冊、座談会＝黒耀会その時代と周辺の人々

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
439	昭和58・2・1		理論と研究の総合美術誌 美術グラフ 座談会＝黒耀会その時代と周辺の 人々(続)	時の美術社		冊子	
440	昭和47・11		義民	貞享義民社		冊子	
441	昭和51	1976	深志100年祭美術展	深志100年祭美術展 実行委員会		冊子	
442	昭和51・10・15		松中深志高 百年の歩み 心が創る総 合雑誌 信州往来 別冊	信州往来社		冊子	
443			アルバム			冊子	
444			バインダー(望月桂 デッサンのコ ピー)			一括	
445			バインダー(望月桂資料の写真)			一括	
446			バインダー(望月桂(犀川凡太郎)年譜 原稿、望月桂遺影、デッサン等のコ ピー)			一括	
447	昭和46・1・3	1971	古川時雄宛書簡	望月桂		封筒	
448	平成2・4・15	1990	古川時雄・百合宛封書	望月明美		封筒	アルバム入り(秋田刑務所等)
449			古川時雄宛書簡	望月桂		封筒	写真入り(久板卯之助終焉の地)
450	昭和39・12・23		古川時雄宛葉書 1通	望月桂		葉書	
451	昭和42		古川時雄宛葉書 2通	望月桂		葉書	
452	昭和45・12・14		古川時雄宛葉書 1通	望月桂		葉書	ネギの絵
453	昭和46		古川時雄宛葉書 2通	望月桂		葉書	3月30日、9月30日
454	昭和47		古川時雄宛葉書 2通	望月桂		葉書	2月18日、2月28日消印
455	昭和48		古川時雄・百合子宛葉書 3通	望月桂		葉書	9/7、9/16、10/3
456	昭和50・4・12		古川時雄宛葉書 1通(展示会が信州 新町美術館で開催を確定した)	望月桂		葉書	
457	昭和50・4・23		古川時雄宛書簡(新聞記事を送りまし た)	望月桂		封筒	新聞記事3点同封(信州新町美術館 展示)
458	昭和51・1・10		古川時雄宛書簡	望月明美		封筒	美術グラフ第24巻第10号同封

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
459			古川時雄宛書簡(ミニギャラリー久我山オープン葉書・「ミニギャラリー久我山」オープンと再現「黒耀会」展開催のお知らせ・再現展第1回黒耀会展パンフレット)	時の美術社		封筒	
460			望月桂宅周辺照介図 昭和四十七年六月作図			紙	
461			労働運動・黒色戦線社アナキズム研究書	黒色戦線社		紙	2枚
462	平成元・4・22	1989	横倉辰次を偲ぶ会(1904年1月2日生—1983年4月19日没)			綴	
463	大正6	1917	労働青年(3月号・4月号・7月号)	労働青年社		紙	
464			黒旗の下に(第4号・第9号)	「黒旗の下に」発行所		紙	
465			(原稿)黒色青年の成立と短命であった・犀川凡太郎(望月桂、明治二十年一月生)・望桂さんのこと	古川時雄カ		紙	
466			(コピー)随筆 1974—/随筆 1974.8—1975/随筆 1975			紙	
467-1			(原稿)モチケイさんのこと	古河三樹松		紙	
467-2			(原稿)望月さんの終始	近藤真柄		紙	
467-3			(校正)望月桂(犀川凡太郎)年譜	古川時雄		紙	
467-4			(原稿)望月桂さんとの旅行	和田栄去		紙	
467-5			(原稿)画家としての望桂さん	望月百合子		紙	
467-6			(原稿)笑龍に低頭する	添田知道		紙	
467-7			(原稿)貧時交	北浦馨		紙	
467-8			(原稿)兄を送る	望月しげ		紙	
467-9			(原稿)土に埋もれた巨大な礎	渡辺政太郎		紙	
467-10			(原稿)望月桂遺稿集より 年賀状・大先輩碌山氏を偲ぶ・大逆事件遺跡			紙	
468			小作人 第3号			紙	
469			小作人 第8号			紙	
470			(コピー)小作人 第2号			紙	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
471			望月桂証言テープ ①望月桂・有島武郎・黒耀会・爆笑 ②東山魁夷・望桂・久板の絵・和田・山鹿・芸術話 ③黒輝会・小作人・入山辺・百瀬・郷原・赤羽 ④もちけい・ときざわ(49.6.9)			その他	⑤昭和50.4.2信州新町美術館「望月桂展」 韓晔相・関崎房太郎・山田邦夫・望月桂・古川時雄・(裏面)回顧展・久板のこと・回顧展の前夜・和田久太郎の押花 ⑥嘉助、尚江遺宅(47.11.18) ⑦吉田さん(東京での隣人か) ⑧老人あめりか物語 ⑨50.4.20回顧展の前夜 ⑩42.3.3望桂加々美豊氏収録 ⑪根津の会合・久板の墓・和田の押花
472			おもかげ(松南高校卒業文集)	松南高校3年6組		冊子	望月桂の一文あり、「図画室での反省」
473			思い出すままに「古川時雄」(望月明美氏原稿)	望月明美		紙	現代女性文化研究所(望月百合子記念館)の封筒、同館・岡田孝子から望月明美宛葉書・私信同封
474	昭和45	1970	望月桂「雪と私」(月刊新信州・コピー)、田中紀子私信	望月桂		紙	雪山での桂の体験(保科君・久板卯之助)
475	昭和33	1958	日本アナキスト連盟 第八回全国大会議案	日本アナキスト連盟		紙	ガリ版刷り、B4版2枚(二つ折り8ページ)
476	昭和49	1974	望月桂宛封書2通 ①京都市・厚見民恭より(日本無政府主義者連盟チラシ・同規約綱領案 在中) ②リベロー(日本アナキズム研究センター会報20号)	厚見民恭・日本アナキズム研究センター		紙	
477	昭和47	1972	書簡 ①望月桂から古川時雄あて封書(S47.5.2書簡・和田久太郎墓写真・和田及び久板卯之助墓所案内地図…桂描く) ②同葉書(S47年暮れ) ③古川時雄宛望月明美より書簡(S51) ④同葉書(S52)	望月桂・明美	古川時雄	葉書	
478	昭和50	1975	新聞切り抜き ①読売新聞・昭和50年5月5日「犀川凡太郎さん異色の個展」 ②中日新聞松本ホームサービス・S56年2月5日「松本平の近代人物誌・望月桂」(有賀義人著)			紙	
479	昭和50	1975	望月桂葬儀「弔辞」	古川時雄(友人代表)		紙	便箋6枚

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
480	昭和48	1973	望月桂・作品写真(厚紙10枚)			写真	厚紙に八つ切り写真(白黒・カラー混在)を貼付、油絵写真・漫画写真・へちまぐい呑み・生前桂写真
481	大正9	1920	①雑誌「黒耀」第一年六月号(コピー) ②望月桂「黒耀会概要(望月桂との関係)」(自筆原稿コピー)	黒耀会・望月桂		紙	①8ページ、望月桂「黒耀会の経過」「俺達の文句」②2枚
482	昭和42	1967	新聞「無政府主義運動」(第55号)	日本アナキストクラブ		紙	「岩佐作太郎追悼号」・望月桂「岩佐老を偲んで」
483			ファイリングノート・桂年譜作成原稿(メモ・原稿三種など)	望月桂		紙	茶色のファイリングノートに、原稿用紙に書かれた年譜原稿
484	平成19	2007	刊行本「美のふるさと」(信州近代美術家たちの物語)・望月桂記事掲載信濃毎日新聞(平成17年7/25日号・8/1日号)	信濃毎日新聞社・植草学著		冊子	刊行本2冊、掲載紙2部保存
485	平成12	2000	初期社会主義研究(2000年第13号)	初期社会主義研究会		冊子	
486	平成19	2007	南の窓(第20号)	大逆事件の犠牲者を顕彰する会		紙	望月明美氏宛封筒に入る
487	平成2	1990	農民に伍して(付 木下茂追悼文集)	黒色戦線社・木下茂訳		冊子	望月桂作・扉絵 初版本は1929年1月
488	昭和60	1985	魂の浄化 -アナーキーの実践とその消長-	女屋勘左衛門		冊子	
489	平成元	1989	自由思想(復刻版・1960.7月～1961.11月・第1号～第7号)	自由思想研究会・自由思想の会編集		冊子	
490	平成17	2005	書簡(信濃毎日新聞社・植草学記者から望月明美氏)	信濃毎日新聞社・植草学記者	望月明美	紙	「美のふるさと」での望月桂記事執筆にあたって(所感など)
491	昭和63	1988	1920年代日本展開関連資料(企画概要構成案・絵葉書「1920年代日本展」・企画担当者からの書簡等)	東京都美術館		紙	
493	平成14	2002	スナップ写真(八十二文化財団「望月桂展」会場にて)			写真	家族写真など、展示会場にて撮影、同一の写真を何通かの小封筒に分ける
494	平成15	2003	雑誌「黒」(2003.6 N-ro.9 第2次2号)			冊子	
495	平成14	2002	〈黒La Nigreco〉パンフシリーズ「暴力論ノートー非暴力直接行動とは何かー」	向井孝		冊子	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
496	平成18	2006	初期社会主義研究(2006年・第19号)	初期社会主義研究会		冊子	
497	明治34	1901	モノクロ写真(16葉・望月桂ほか)			写真	裏書あり計8葉 ①M34.2月・川手牧水会(松本中学一年) ②M36.2.8・小林長衛・望月桂 ③M39.6.3・美術学校在学中 ④M43・美校時代(不言山人) ⑤T9.5.12祝降旗元太郎君当選・望月団次殿 ⑥T9.5.21・満一歳記念・望月公子 ⑦公子(2歳ころか) ⑧T11.7月・望月公子四歳氏名等不詳8葉(人物5葉・母子家族1葉・女婿人・近衛歩兵3聯隊)
498	昭和44	1969	写真(古川時雄撮影か) 9枚			写真	裏書あり4葉(・健と中耕地道祖神・川崎常楽寺まんが寺筆塚3葉)、裏書なし(碌山館・その他石仏など計5葉)
499			モノクロ写真(35葉)			写真	家族写真が中心、小サイズ多い、裏書あり
500	平成14	2002	写真ミニアルバム3冊ほか(八十二文化財団「望月桂展」)			写真	ミニアルバム3冊・増し刷り(封筒入り14枚)
501	平成14	2002	「望月桂展」関連資料(バインダー入り)	望月明美		紙	企画展開催にあたっての八十二文化財団からの書面、明美氏メモほか
502	昭和15	1940	塔之原犀宮神社奉納「稔りの秋」(写真・額裏書文面)、ほか資料	望月桂・願主竹田信平		紙	地元農民による犀川築堤、耕地整理、開墾の完成を祝し、望月桂が「為永劫記念謹写開墾地実景」と題して「稔りの秋」を寄贈。その裏書文面・同文の書写ほか。写真1枚(明美氏か)
503	平成14	2002	ビデオカセット「NHKニュース・NBSニュース 望月桂展」	NHK NBS		その他	NHKニュース(平成14年5月21日)およびNBSニュース(平成14年6月7日)放映録画、VHSテープ
492	平成5	1993	「大杉栄と仲間たち展」関連資料	大震災・大杉栄と仲間たち展実行委員会		紙	望月桂の作品11点・へちま楽書帳・書簡など出品。実行委員会からの通知、望月家の人々スナップ写真など一括保存

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
504	昭和27	1952	望月桂「松南高校新聞」掲載原稿	望月桂		紙	新聞に掲載された記事(書写・ワープロ)、「モウ一息」(S27.2)・「絵の描き方、見方」(S30.10)・「人生の美しい面だけを見つめて 我が生い立ちの記 望月先生の巻」(S35.10)・「松南生に欠けるもの」(年欠)・「常に寛大さと純情を」(S36.6)
505			「漫画家・望月桂の生涯」			紙	・望月桂の年譜、A4版2枚、ワープロ(出典不明)
506	平成14	2002	「異色画家 望月桂」(『野沢中学校 野沢北高等学校 百年史』より抜き刷り)	野沢北高校実行委員会(編集)		紙	望月桂に関する部分のみコピー(2枚)、2部保存
507	平成14	2002	八十二文化財団「望月桂展」関連資料			紙	表記「望月桂展」についての新聞記事切り抜き・コピー(信濃毎日新聞・市民タイムス・長野市民新聞・朝日新聞・中日新聞松本ホームサービスほか)
508	大正7	1918	大杉栄ハガキ(望月桂あて)	大杉栄	望月桂	葉書	大正7年3月10日付「昨夜帰宅す、不起訴なり(ママ)、種々御配慮を謝す、十日 大杉栄」封筒に保存(明美氏コメント「義理堅い一面のある大杉の事を 父はノートか何かにしたためていました。」)
509	昭和30年代	1960	記念写真(7枚)	松南高校ほか		写真	松南高校職員写真6枚・岳南同窓会(野沢中学)同窓会写真1枚
510	昭和24	1949	写真6枚(農業委員会関連)			写真	白黒写真、「昭和25年2月2日塔原八十七共有地開放記念」・「松筑農地委員協議会 会長 代議員会」ほか
511	昭和37	1962	写真20枚(松南高校生徒・職員とのスナップ写真)	松南高校		写真	昭和37年八方尾根姫川職員旅行・松南高校バス旅行・松南高校展示会・同高美術部写生旅行など
512	昭和26	1951	写真5枚(農協婦人部ほか)			写真	農協婦人部慰安旅行、品評会などの集合写真(望月福子氏)
513			写真1枚(大町中学同窓会)			写真	葛温泉にて撮影
514	昭和20	1945	写真(桂・中村しげ子ほか写真、14枚)			写真	「終戦当時」と裏書した写真など
515	昭和34	1959	写真(10枚・松中同級丙午会・ほか不明写真)			写真	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
516	明治45	1912	写真(4葉・①桂写真 ②桂写真 ③八十三 百姓桂 ④赤羽一写真)			写真	①コメントなし、桂のサイン ②昭和11年12月20日撮 ③八十三 百姓桂 古川時雄写 44.5.19 ④信州松本在の産、明治45年3月1日 千葉の獄裡に死す
517	大正5	1916	雑誌『労働青年』(第2巻第1号・第2号・第3号・第5号)	労働青年社・編輯発行久板卯之助・印刷人渡邊政太郎		紙	A3両面印刷・四つ折り8ページ。1号(へちま広告)・2号(望月桂「平民美術」・へちま広告)・3号(望月桂「平民美術研究会」・へちま広告)・5号(望月桂挿絵・へちま広告) ◎和田久太郎・久板卯之助らの寄稿あり※2号・3号各2部、5号は7部保存
518	大正7	1918	『労働新聞』(第一号・第二号)	労働新聞社(発行人・久板卯之助、編輯兼印刷人・和田久太郎)		紙	B3版2枚、両面印刷二つ折り(8ページ)第1号3～6ページ欠
519	平成3	1991	『市民タイムス』松本平人物誌26「望月桂」(1)～(30)	倉科平・著、宮浦真之助・画		紙	毎日掲載(9月11日号～10月15日号)・コピーも同時保存別に、9/5付連載告知・9/15付「小林有也・松中初代校長胸像」についての市民タイムス記
520			デッサン画(断簡・習作)			紙	墨絵で人物デッサン
521			デッサン画(猫)			紙	鉛筆スケッチ
522			写真12枚(望月桂作品を撮影)	望月桂ほか		写真	油絵・風景画中心に作品を撮影。裏面に桂直筆と思われる裏書
523			「SKETCH ToMaTo」(望月桂随筆と絵)	望月桂		紙	表(題字とトマトの絵)・裏表紙、中両面に本文(万年筆)、3枚を紐綴じ
524	平成14	2002	八十二文化財団「望月桂展」図録資料(小松隆二・菊池明子・守まゆみ・望月明美 原稿)	八十二文化財団		紙	図録原稿(ゲラ)注)信州新町「回顧展」(昭和50年)チラシの望月桂・丸山良策の原稿コピー在中
525	平成5	1993	関東大震災70周年「大杉栄と仲間たち」展図録	大震災・大杉栄と仲間たち展実行委員会		冊子	図録3冊保存、望月桂作品多数収録
526	昭和51	1976	年賀はがき(未投函)3枚	望月明美		葉書	年賀状用に桂が図案を印刷、明美氏が父の遺作として投函しようとしたもの。明美氏の添書きあり。宛先未記入
527	昭和29	1954	新聞『信州の東京』(第301号・昭和29年1月1日号)2部	長野県人会連合会		紙	1面に、望月桂「信濃の春」の文と絵(百姓桂の銘)2部保存

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
528			家族の写真			写真	家族の写真を桂が人別に分類、名前を記す(桂画2袋、志げ・貞子旅行、明美・千鶴子、ふく、志げ、家族並ニ友人と共に、ガラス板写真、その他バラ写真多数)
529	昭和63	1988	「1920年代・日本展」図録			冊子	図録2冊保存
530	平成14	2002	八十二文化財団「望月桂展」来場者芳名簿	八十二文化財団		縦冊	ファイリングノート1冊(15名×119ページ)
531	昭和24	1949	扇子	望月桂		その他	扇子に桂のサイン、詩を記す「夏は来ぬ濃き藍の深きそら 吾をよぶ果てなき里へ…」
532			印鑑(8本)・落款(4本)			その他	落款…「望月桂」角印(篆刻・茶色袋)・「桂」角印(篆刻・茶色革袋)・「桂」角印2種(篆刻・布袋)
533	9月25日	—	書簡(高木■から望月福子あて)	高木某		紙	
534	昭和47	1972	(通信)「らっこ」(二人のアナキストの墓—ズボ久とキリスト—)	静岡市・芳村和勇		紙	和田久太郎(ズボ久)と久板卯之助(キリスト)についての文。和田の墓の在処を発見した人物として望月桂に触れる。2部保存
535	昭和51	1976	朝日新聞 1976年8月27日「扼殺だった大杉栄の死—半世紀ぶり死因鑑定書」発見	朝日新聞		紙	望月明美氏が大杉事件への関心から収集したものか。※2部保存
536	昭和45	1970	望月桂スケッチ「木崎湖」	望月桂		紙	鉛筆画
537			望月桂・スクラップブック			縦冊	新聞切り抜き(朝日新聞S48年9月「思想史を歩く—大杉栄とアナキズム」、信濃毎日新聞「私の昭和史」ほか)・明治33年11月記「萬事会計帳—望月桂」・書簡(中村■輔・古川時雄・佐宗美邦・まんが寺より桂宛)
538			望月桂・スケッチ(薪を背負った農婦)			紙	反故紙に墨で描く
539			色紙(人物似顔絵)			紙	墨
540	昭和15	1940	スケッチ(鉛筆画3枚)「昭和15 大磯海岸の松」			紙	半紙 3枚
541	昭和28	1953	人物画「瀧沢の爺」(似顔絵)	望月桂		紙	桂のサインあり、墨絵、裏面に習作

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
542			漫画習作			紙	文福茶釜をモチーフにした漫画習作か。
543			色紙(寄せ書き風)			紙	「老体以芸導人」孫凡太郎、革命の志など記述
544			色紙(蛙か)			紙	上書きされ判読不能
545			漫画デッサン(人物)			紙	和紙に墨で多数の人物。力士の化粧まわしに「布山」「黒海洋」
546	大正2	1913	デッサン・スケッチ「大円社時代―へちま時代」			紙	「大正2年-3-5年-6年・大円社時代―へちま時代」と書かれた厚紙に、デッサン類を挟む、鉛筆画、髷・蟬螂・工事現場風景・やもめ・女性ほか
547	昭和44	1969	寄せ書き(遥かに御健康を祈念します…望月桂様・もちけいさん)	緒方昇・古川時雄ほか7人	望月桂	紙	
548			似顔絵(習作4枚)			紙	同一人物4枚、墨絵
549			墨絵(習作7枚)			紙	雪舟とネズミの図柄
550	昭和17	1942	講習證書(第12会工場食改善講習会履修證書)	東京産業報国会	望月桂	紙	
554	昭和42	1967	葉書3通(望月福子から望月桂・皆様)	望月ふく(福子)	望月桂・皆々さま	葉書	木曾に逗留している福子から明科の家に宛てた葉書。
559	昭和47	1972	封書・はがき(堀川寛一から望月桂・各1通)	堀川寛一	望月桂	葉書	
558	8月7日	—	書簡(向井孝から望月桂あて)	向井孝	望月桂	紙	封筒なし、和田久太郎の母について言及
557	昭和48	1973	葉書(大島英三郎から望月桂宛)	大島英三郎	望月桂	葉書	『黒色青年』のコピーを要望
556	昭和48	1973	封書(内川千治から望月桂宛)	内川千治	望月桂	封筒	
555			葉書(牧野清太郎から望月桂・中村しげ子宛)	牧野清太郎(差出人「女芸の教室」とある葉書)	望月桂・中村しげ子	葉書	
553	10月31日	—	書簡(今立竹次郎から望月桂宛)	今立竹次郎	望月桂	紙	
552			葉書(佐野怜子から望月桂・明美宛)	佐野怜子	望月桂・明美	葉書	
560	6年1月10日	—	へちま飯屋宛 葉書(明日帰京する、諸君によろしく)	御亭主(望月桂)	へちま飯屋	葉書	
561			池部鈞 封書3通・葉書18通	池部 鈞	望月 桂	葉書	
562			田中正実 封書1通・葉書1通	田中正実	望月桂	封筒	
563			林 泉 封書1通・葉書6通	林 泉	望月桂	葉書	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
564			堺利彦 葉書(5通)	堺利彦	望月桂	葉書	
565			岡本一平 葉書(5通)	岡本一平	望月桂	葉書	
566			藤田一 葉書(3通)	藤田 一	望月桂	葉書	
567	昭和15・2・16	1940	福澤吉廣 葉書(1通)	福澤吉廣	望月桂	葉書	
568	昭和12・7月	1937	望月虎男 葉書1通(暑中見舞い)	仙台陸軍教導学校第三中隊第三区隊 望月虎男	望月桂	葉書	
569	6月20日	—	中村しげ子宛 石谷勝 封書(1通)	石谷勝	中村しげ子	封筒	
570	昭和35・4・6	1960	内川千治 封書1通	内川千治	望月桂	封筒	
571			望月団治宛 望月桂 葉書3通	望月桂	望月団治	葉書	
572			碓田豊宛 葉書1通	月の桂(望月桂)	碓田 豊	葉書	
573	昭和31・12・31	1956	三上大悟宛 葉書1通(年賀状)	望月桂	三上大悟	葉書	
574			人物画	望月桂		葉書	絵葉書の裏を使用
575			望月とよ宛 葉書2通	望月桂	望月とよ	葉書	
576			大杉榮の会 出席申込者(敬称略)九月十五日現在			紙	
577	大正6	1917	葉書(へちま移転開業)	望月桂		葉書	
578			望月桂 年賀状(3種類)	望月桂		葉書	
579	昭和25・1・9	1950	望月ふく子宛 近藤まがら 葉書1通	近藤まがら	望月ふく子	葉書	平凡社編集部の年賀状を使用
580	昭和13・12・28	1938	望月ふく宛 奥山伸内 葉書1通	奥山伸内	望月ふく	葉書	
581			ふく子宛 貞子 書簡1通	貞子	ふく子	紙	
582	8月10日	—	飯沼茂秋 封書1通(書簡:桂宛1通・明美宛1通)	飯沼茂秋	望月桂・(明美)	封筒	
583	昭和39・3・25	1964	永野徹 葉書1通	永野徹	望月桂	葉書	
584	12・12・31	—	大崎和三郎 葉書2通	農村運動同盟雑誌「小作人」兵庫支部 大崎和三郎	①農村運動同盟 望月桂 ②農村運動同盟 同人御一同	葉書	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
585	昭和33・7・20	1958	伊藤源一郎 封書1通	伊藤源一郎	望月桂	封筒	
586			①武井真澄 封書1通 ②武井真澄先生画	武井真澄	望月桂	一括	
587			望月明美宛 望月桂子 葉書2通	望月桂子	望月明美	葉書	
588			望月桂宛葉書2通	馳部	望月桂	葉書	
589			香田勝太 葉書2通・名刺1枚	香田勝太	望月桂	一括	
590	昭和32・1・5	1957	大和喜真太 葉書1通(年賀状)	大和喜真太	望月桂	葉書	
591	昭和34・1・1	1959	河越虎之進 葉書1通(年賀状)	河越虎之進	望月桂	葉書	
592			奥山伸 葉書1通	奥山伸	望月桂	葉書	
593			藤澤善吉 葉書1通	藤澤善吉	望月桂	葉書	
594	1月	—	小山口助 葉書1通(年賀状)	小山口助	望月桂	葉書	
595			近藤憲二 葉書4通(桂宛3通・明美宛1通)	近藤憲二	望月桂・明美	葉書	
596			宮崎安右衛門 葉書8通	宮崎安右衛門	望月桂	葉書	
597	9月13日	—	近藤まがら 葉書1通	近藤まがら	望月桂	葉書	
598			中村しげ宛 近藤まがら 葉書1通	近藤まがら	中村しげ	葉書	
599	11・7・30	—	風見章 封書1通	風見章	望月桂	封筒	
600	7・1・1	—	中村清兵衛 葉書1通(年賀状)	中村清兵衛	望月桂	葉書	
601			中村清兵衛 書簡1通	中村清兵衛	望月ふく子	紙	
602			河野通岱 封書1通	河野通岱	望月桂	封筒	
603			大賀渡 葉書2通・封書1通	大賀渡	望月桂	葉書	
604			竹田四郎 封書1通・葉書8通	竹田四郎	望月桂	封筒	
605			望月ふく子宛 中川路貞子 封書2通	中川路貞子	望月ふく子	封筒	
606			望月ふく子宛 望月十内 封書1通・葉書1通(軍事郵便)	望月十内	望月ふく子	封筒	
607	8月11日	—	中村しげ子宛 葉書1通	廣志	中村しげ子	葉書	
608	13・11・19	—	爆笑社宛葉書1通	爆笑社		葉書	
609	14・4・12	—	爆笑社宛 風見章 葉書1通	風見章	爆笑社	葉書	
610	3月11日	—	望月ふく子宛 望月桂子 葉書1通	望月桂子	望月ふく子	葉書	
611			雑誌たぬき発行所 葉書3通	雑誌たぬき発行所『一膳屋たぬき』	望月桂	葉書	
612			丸山良生 葉書2通	丸山良生	望月桂	葉書	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
613	10・11・11	—	望月福子宛 望月桂 葉書1通	望月桂	望月福子	葉書	パレット図案社の葉書を使用
614			丸山良作 葉書7通	丸山良作	望月桂	葉書	
615			大塚順一 書簡1通	大塚順一	望月	紙	
616			神崎情 葉書2通	神崎情	望月桂	葉書	
617			近藤浩一路 葉書2通	近藤浩一路	望月桂	葉書	
618	大正7・1・1	1918	賣文社 葉書1通(年賀状)	合名会社 賣文社 社長 堺利彦 理事 高島素之 理事 山川均	望月桂	葉書	
619			平林茂人 葉書1通	平林茂人	へちま御主人 望月桂	葉書	
620			三原林一 葉書1通	三原林一	望月桂	葉書	
621	13日	—	栗原一夫 書簡1通	栗原一夫	望月桂	封筒	葉書(曹洞宗総泉寺より望月桂宛)同封、株式会社新夕刊新聞社の封筒を使用
622	昭和42・9・2	1967	小林先生頌徳会 葉書1通	小林先生頌徳会	望月桂	葉書	
623			毎水坊主 葉書1通	毎水坊主	望月桂	葉書	
624			高田正経 葉書1通	高田正経	望月桂	葉書	
625	36・1・24	—	小林作□ 葉書1通	小林作□	望月桂	葉書	英文
626			高橋昇□ 葉書1通	高橋昇□	望月桂	葉書	
627			瀧澤稲恵 葉書1通(年賀状)	瀧澤稲恵	望月桂	葉書	
628	明治41・1	1908	加藤静児 葉書1通(年賀状)	加藤静児	望月桂	葉書	
629	7・2・11	—	増田□山 葉書1通(新年を祝す)	増田□山	望月桂	葉書	
630	大正7・1・1	1918	山田□海 葉書1通(年賀状)	山田□海	望月桂	葉書	
631	大正7・1・3	1918	保科明□ 葉書1通(年賀状)	保科明□	望月桂	葉書	
632	大正7・1・5	1918	松美佐雄 葉書1通(年賀状)	松美佐雄	望月桂	葉書	時事新報社の葉書を使用
633	明治44・11・2	1911	才島野七 葉書1通	才島野七	望月桂	葉書	
634		—	小山海太郎 葉書2通(年賀状)	小山海太郎	望月桂	葉書	
635			望月桂宛葉書1通	池田生	望月桂	葉書	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
636	大正11	1922	カナザハビデオ 葉書1通(年賀状)	カナザハビデオ		葉書	
637	7・1・3	—	岡野美岐雄 葉書1通(年賀状)	岡野美岐雄	望月桂	葉書	
638			波々伯部金洲 葉書1通(年賀状)	波々伯部金洲	望月桂	葉書	
639			白井眞澄 葉書2通(年賀状)	白井眞澄	望月桂	葉書	
640	9月12日	—	川手商会 葉書1通	川手商会 作一	望月桂	葉書	
641	37・2・6	—	望月桂宛葉書1通	丸山	望月桂	葉書	
642	5月30日	—	愛国少年少女会 葉書1通	愛国少年少女会	望月桂	葉書	
643	大正7・1・1	1918	碓田口太郎 葉書1通(年賀状)	碓田口太郎 他1名	望月桂	葉書	
644	大正7・1・1	1918	碓田右門口・碓田録郎 葉書1通(年賀状)	碓田右門口・碓田録郎	望月桂	葉書	
645	9月30日	—	向田松口 葉書1通	向田松口	望月桂	冊子	
646	大正7・1・1	1918	藤井平五郎 葉書1通(年賀状)	藤井平五郎	望月桂	葉書	
647			安川口蔵 葉書1通	安川口蔵	望月桂	葉書	
648	5・6・12	—	望月桂宛葉書1通	うらなりやせぶら	望月桂	葉書	
649			杉山治雄 葉書1通(年賀状)	杉山治雄	望月桂	葉書	
650	14・9・22	—	小川健口 葉書1通	小川健口	望月桂	葉書	
651	明治42・7・6	1909	佐々木直哉 葉書1通	佐々木直哉	望月桂	葉書	
652			葉書1通(口嶋一刀より爆笑社宛)	口嶋一刀	爆笑社	葉書	往復はがき(返信)
653			窪村紀子 葉書2通(年賀状)	窪村紀子	望月桂	葉書	
654	明治43・9・17	1910	武田芳雄 葉書1通	武田芳雄	望月桂	葉書	
655	22・1・2	—	石川源司 書簡1通	石川源司	望月桂	封筒	
656	5・6・1	—	小山進 葉書1通	小山進	望月桂	葉書	
657			田邊至 葉書1通(年賀状)	田邊至	望月桂	葉書	
658	昭和42・5・8	1967	古河三樹 葉書1通	古河三樹	望月桂	葉書	
659			山浦貫一 葉書1通	山浦貫一	望月桂	葉書	
660	昭和37	1962	矢島まさ子 葉書1通(年賀状)	矢島まさ子	望月桂	葉書	
661	昭和37	1962	丸山悦子 葉書1通(年賀状)	丸山悦子	望月桂	葉書	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
662	昭和37	1962	清水文子 葉書1通(年賀状)	清水文子	望月桂	葉書	
663	昭和37・1・1	1962	古田勝子 葉書1通(年賀状)	古田勝子	望月桂	葉書	
664	昭和37	1962	成田良子 葉書1通(年賀状)	成田良子	望月桂・中村しげ	葉書	
665	昭和37	1962	窪田矩子 葉書1通(年賀状)	窪田矩子	望月桂	葉書	
666	昭和37	1962	丸山和子 葉書1通(年賀状)	丸山和子	望月桂	葉書	
667			三隅禎三郎 葉書3通	三隅禎三郎	望月桂	葉書	
668			竹下甫水 葉書1通・書簡1通	竹下甫水	望月桂	葉書	
669	10月24日	—	遠藤尚子 書簡1通	遠藤尚子	望月桂	封筒	
670			青木美智恵 葉書2通	青木美智恵	望月桂	葉書	
671	昭和39・7・30	1964	薄井才次 葉書1通(暑中見舞い)	薄井才次	望月桂	葉書	
672	7月1日	—	書簡1通(浪上義三郎より中村しげ子宛)	浪上義三郎	中村しげ子	封筒	
673	大正7	1918	望月団治 葉書1通(年賀状)	望月団治	望月桂	葉書	
674	大正7	1918	小林長衛 葉書1通(年賀状)	陸軍二等軍医 小林長衛	望月桂	葉書	
675			平林盛人 葉書8通・書簡1通(軍事郵便)	平林盛人	望月桂	葉書	
676	昭和34	1959	春日紀子 葉書1通(年賀状)	春日紀子	望月桂	葉書	
677			長崎団次郎 葉書3通	長崎団次郎	望月桂	葉書	
678	大正7	1918	堀内桂次郎 葉書1通(年賀状)	堀内桂次郎	望月桂	葉書	
679	昭和37	1962	裏紀子 葉書1通(年賀状)	裏紀子	望月桂	葉書	
680			田辺保子 葉書2通(年賀状)	田辺保子	望月桂	葉書	
681	昭和45	1970	百瀬信子 葉書1通(年賀状)	百瀬信子	望月桂	葉書	
682			望月桂宛葉書2通	詩朗	望月桂	葉書	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
683	昭和37	1962	小川金重 葉書1通(年賀状)	小川金重	望月桂	葉書	
684	昭和37	1962	宮尾しげを 葉書1通(年賀状)	宮尾しげを	中村しげ子	葉書	
685	35・2・11	—	梅津秀夫 書簡1通	梅津秀夫	望月桂	封筒	株式会社電通横浜支局の封筒を使用
686			小川新太郎 葉書1通	小川新太郎	望月桂	葉書	
687	5・7・2	—	加々美博 葉書1通	加々美博	望月桂	葉書	
688			寺島理吉 葉書1通	寺島理吉	望月桂	葉書	
689	昭和27	1952	細萱好 葉書1通(年賀状)	細萱好	望月桂	葉書	
690	昭和37	1962	平島慶三 葉書1通(年賀状)	平島慶三	望月桂	葉書	
691	8・12・27	—	望月桂宛葉書1通	安川	望月桂	葉書	
692			□井政蔵 葉書1通(年賀状)	□井政蔵	望月桂	葉書	
693			岡野辰 葉書1通(年賀状)	岡野辰	望月桂	葉書	
694	大正7・1・3	1918	飯村準一 葉書1通	飯村準一	望月桂	葉書	
695			望月桂宛葉書1通(年賀状)	飯田□□	望月桂	葉書	
696			望月桂宛葉書1通(年賀状)	戸田□□	望月桂	葉書	
697	大正7	1918	三原樵 葉書1通(年賀状)	三原樵	望月桂	葉書	
698	10月20日	—	平光堅 葉書1通	平光堅	望月桂	葉書	
699	大正7・1・13	1918	中田□二郎 葉書1通(年賀状)	中田□二郎	望月桂	葉書	
700			望月桂宛葉書1通	白天浪人	望月桂	葉書	
701			細木原青哉 葉書1通	細木原青哉	望月桂	葉書	
702			望月桂宛葉書1通	岩崎生	望月桂	葉書	
703			望月桂宛葉書1通	久保田往重 他	望月桂	葉書	
704	明治30・1	1897	向上卓吉 葉書1通(年賀状)	向上卓吉	望月桂	葉書	
705	昭和29・12・30	1954	郷原古□ 葉書1通(年賀状)	郷原古□	望月桂	葉書	
706	7月22日	—	古賀光華 葉書1通	古賀光華	望月桂	葉書	
707			波場直蔵 葉書1通(軍事郵便)	波場直蔵	望月桂	葉書	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
708	大正13・1	1924	小澤痴呆 葉書1通(年賀状)	山梨民聲新聞社 小澤痴呆	望月桂	葉書	
709	大正7・1	1918	平林廣人 葉書1通(年賀状)	平林廣人	望月桂	葉書	
710	9・1・1	—	小穴武次 葉書1通(年賀状)	小穴武次	望月桂	葉書	
711			神津港人 葉書1通	神津港人	望月桂	葉書	
712	9・1・1	—	池田すぐる 葉書1通	池田すぐる	望月桂・福子	葉書	
713			内田武雄 葉書1通(年賀状)	内田武雄	望月桂	葉書	
714	大正13・1・1	1924	小林恒雄 葉書1通(年賀状)	小林恒雄	望月桂	葉書	
715			高田正雄 葉書1通(年賀状)	高田正雄	望月桂	葉書	
716	7・1・2	—	塚田千寿男 葉書1通(年賀状)	塚田千寿男	望月桂	葉書	
717	大正7・1	1918	松原芳樹・秋子 葉書1通(年賀状)	松原芳樹・秋子	望月桂・ふく子	葉書	
718			碓田豊 葉書1通(年賀状)	碓田豊	望月桂	葉書	
719	大正7・1	1918	金井徳次郎 葉書1通(年賀状)	金井徳次郎	望月桂	葉書	
720	大正7・1	1918	大久保秀敦 葉書1通(年賀状)	大久保秀敦	望月桂	葉書	
721			岩渕千尋 葉書4通	岩渕千尋	望月桂	葉書	
722			小田幸子 葉書2通・書簡1通	小田幸子	望月桂	葉書	
723			濱金八 葉書2通	濱金八	望月桂	葉書	
724	大正7・1	1918	小板橋藤作 葉書1通(年賀状)	小板橋藤作	望月桂	葉書	
725	大正7・1	1918	森田亮三 葉書1通(年賀状)	森田亮三	望月桂	葉書	
726	大正7・1	1918	藤島武二 葉書1通(年賀状)	藤島武二	望月桂	葉書	
727	6月2日	—	松永二三男 葉書1通	松永二三男	望月桂	葉書	
728			井上新作 葉書1通(年賀状)	井上新作	望月桂	葉書	
729	大正7・1	1918	御子柴朔朗 葉書1通(年賀状)	御子柴朔朗	望月桂	葉書	
730			土谷守人 葉書1通(年賀状)	土谷守人	望月桂	葉書	
731	大正7・1	1918	丸山長渡 葉書1通(年賀状)	法学士・弁護士 丸山長渡	望月桂	葉書	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
732	大正7・1	1918	高橋四兵衛 葉書1通(年賀状)	高橋四兵衛	望月桂	葉書	
733			田丸かね子 葉書1通	田丸かね子	望月桂	葉書	
734			進藤左平 葉書3通	進藤左平	望月桂	葉書	
735	大正7・1	1918	西原和治 葉書1通	西原和治	望月桂	葉書	
736	大正7・1	1918	倉田正 葉書1通	倉田正	望月桂	葉書	
737		—	小川三男 葉書1通	小川三男	望月桂	葉書	
738			永野徹 葉書1通	永野徹	望月桂	葉書	
739			薄井計雄 葉書1通(暑中見舞い)	薄井計雄	望月桂	葉書	
740			村瀬秀雄 葉書1通	村瀬秀雄	望月桂	葉書	
741			藤林千里 葉書1通(年賀状)	藤林千里	望月桂	葉書	
742	44・1・3	—	石田口一郎 葉書1通(年賀状)	石田口一郎	望月桂	葉書	
743			碓田文 葉書2通	碓田文	望月桂・福子	葉書	
744	昭和45	1970	葉書1通(金沢智恵子より望月千鶴子宛)	金沢智恵子	望月千鶴子	葉書	
745	3月1日	—	書簡1通(望月ふくより望月桂宛)	望月ふく	望月桂	封筒	昭和12、13年度計算報告書控
746			丸山口夫 葉書1通(年賀状)	丸山口夫	望月桂	葉書	
747			速水不染 葉書1通	速水不染	望月桂	葉書	
748			中村清兵衛 葉書4通	中村清兵衛	望月桂・しげ	葉書	
749	昭和37	1962	古川時雄 葉書1通(年賀状)	古川時雄・百合子	望月桂	葉書	
750			池田源の助 葉書1通	池田源の助	望月桂	葉書	
751	5月16日	—	中川路貞子 書簡1通	中川路貞子	望月桂・中村しげ子	封筒	
752	10月8日	—	高木信 書簡1通	高木信	望月桂	封筒	
753			麥人社 葉書3通	麥人社	望月桂	葉書	
754			望月十内 葉書3通(軍事郵便)	望月十内	望月桂	葉書	
755			望月桂子 葉書7通・書簡3通	望月桂子	望月桂	葉書	
756			望月佳子 葉書3通	望月佳子	中村しげ子	葉書	
757			書簡1通(清子よりしげ子宛)			紙	
758	大正7・1	1918	藤森馨 葉書1通(年賀状)	藤森馨	望月桂	葉書	
759	大正7・1	1918	田島志一 書簡1通(年賀状)	田島志一	望月桂	封筒	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
760			横山俊之 葉書1通	横山俊之	望月桂	葉書	
761			書簡1通(犀川凡太郎宛)	小野□□	犀川凡太郎	封筒	
762	昭和39・8・7	1964	原博子 葉書1通	原博子	望月桂	葉書	
763			櫛田利雄 葉書1通(年賀状)	櫛田利雄	望月桂	葉書	
764			大川正月 葉書1通	大川正月	望月桂	葉書	
765			大内二郎 葉書1通	大内二郎	望月桂	葉書	
766			松永法次 葉書1通	松永法次	望月桂	葉書	
767			望月桂宛葉書1通	山田□	望月桂	葉書	
768			高田正雄 葉書1通(年賀状)	高田正雄	望月桂	葉書	
769	大正7・1	1918	横山俊三 葉書1通(年賀状)	横山俊三	望月桂	葉書	
770	昭和25・2・22	1950	日本労農救援会本部 葉書1通	日本労農救援会本部	望月桂	葉書	
771			平光居一 葉書1通(年賀状)	平光居一	望月桂	葉書	
772			倉科堅二 葉書1通	倉科堅二	望月桂	葉書	
773			菊池剛太郎 葉書1通(年賀状)	菊池剛太郎	望月桂	葉書	
774			安宅安五郎 葉書1通・書簡1通	安宅安五郎	望月桂	葉書	
775			望月桂宛葉書2通	中澤	望月桂	葉書	
776			加藤静□ 葉書1通(年賀状)	加藤静□	望月桂	葉書	
777			安原新二 葉書1通(年賀状)	安原新二	望月桂	葉書	
778			植松□之助 葉書1通(年賀状)	植松□之助	望月桂	葉書	
779	大正7・1	1918	野尻爻六 葉書1通(年賀状)	野尻爻六	望月桂	葉書	
780	大正7・1	1918	小菅熊之助 葉書1通(年賀状)	小菅熊之助	望月桂	葉書	
781	大正7・1	1918	藤田芳雄 葉書1通(年賀状)	藤田芳雄	望月桂	葉書	
782			小山右三郎 書簡1通(年賀状)	小山右三郎	望月桂	封筒	
783			飯沼四郎 葉書2通	飯沼四郎	望月桂	葉書	
784			福田十蔵 葉書1通(年賀状)	福田十蔵	望月桂	葉書	
785	10月27日	—	池上喜作 葉書1通	池上喜作	望月桂	葉書	
786			長崎光国 葉書1通(年賀状)	長崎光国	望月桂	葉書	
787	大正7・1	1918	戸川安宅 葉書1通(年賀状)	戸川安宅	望月桂	葉書	

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
788			吉井勇 葉書1通	吉井勇	望月桂	葉書	
789			高山朝子 葉書1通	高山朝子	望月桂	葉書	
790			望月瀆 葉書1通(年賀状)	望月瀆	望月桂	葉書	
791			瀧澤良人 葉書1通	瀧澤良人	望月桂	葉書	往復はがき(往)
792			瀧澤吉三郎 書簡1通(年賀状)	瀧澤吉三郎	望月桂	封筒	
793	大正7・1	1918	所義夫 葉書1通(年賀状)	所義夫	望月桂	葉書	
794	大正13・1	1924	日向保 葉書1通(年賀状)	日向保	望月桂	葉書	
795	44・8・25	—	宮下□□ 葉書1通	宮下□□	望月桂	葉書	
796			望月桂宛葉書28通		望月桂	葉書	
797	昭和15	1940	紀元二千六百年記念 川手会名簿	吉田正美方 川手会		紙	東京在住の川手地区出身者名簿(上・中・東・島内・生の表記)※箱257
798	昭和43	1968	絵葉書ノート(表紙に「山の葉 大根」と表記)	望月桂		葉書	スケッチ・メモ・住所録など、「久板卯之助終焉の地・行年四六才・於猫越峠 一九二二・二・二一 凍死」と題した墓石のスケッチあり※箱257
799	昭和36	1961	スケッチブック	望月桂		冊子	1961年大阪・淡路島の風景スケッチ、1972年自由連合「らっこ」・「イオム通信」などの資料、「47.4.6…久さんの戸籍調べ第一歩」のメモ、1972.4.8望月明美写生・明石市光明寺境内「和田久太郎氏墓地見取図」ほか※箱257
800	大正14	1925	碧空暗雲(ほか)	和田久太郎		綴	薄紙・墨書・一綴り、表題 随筆①碧空暗雲(T14.9～T15.5)…筆墨未許の間(T14.9.20秋田刑務所到着からT15.5.15までの俳句・短歌) ②無臭大音(5・6月) ③杜鵑(6・7月) ④寝語閑語(7・8月) 背表紙「六舎宅房 五四二和田久太郎【総紙数四十貳枚】」※箱「久太の手紙と原稿」

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
801	大正15	1926	朝顔(ほか)	和田久太郎		綴	薄紙・墨書・一綴り、表題 随筆①朝顔(T15.8・9月) ②清宵(9・10月) ③しぐれ(10・11月) 背表紙「全三十数枚(表紙共)六舎一房 五四二号 和田久太郎」 末尾に「此の漫筆の『其の三』以後は雑記帖に記す 久太」とある。※No.800続編
802	大正15	1926	随筆・日記「孤囚漫筆(3) (其三)」	和田久太郎		冊子	ノートの前半は記述に大きく✕印、その個所はNO.801に筆写されている(T15.11/12まで。以後はこのノートに記す)①冬日影(T15.11月・12月) ②奉悼(S1.12月) ③緑に薄墨(S2.1月) 巻末【以下次冊へ】 其の後漢詩雑記、✕印で消去表紙に付箋あり。取扱注意
803	大正15	1926	唯這是(ぬきがき)	和田久太郎		縦冊	漢詩・短歌・俳句筆録 ①五体詩より ②唐詩選 ③禅と詩歌 ④和歌と俳句 巻末に「大正十五年十一月擱筆」とあり。裏表紙には「全三十枚(表紙共)六舎一房五四二号 和田久太郎」とあり
804	昭和2	1927	流情録(其一) 表紙裏「①自昭和2年2月 至 同年」	和田久太郎(酔蜂迂人)		冊子	随筆・日記・詩・俳句など ①静かなる歓び(S2.2) ②光風(3月) ③霞むなら(4月)
107-2			漫文漫画 原画「大杉栄君(困った時)」	望月桂		紙	
107-3			漫文漫画 原画「油断のならぬ和尚」	望月桂		紙	
805	昭和2	1927	(表紙)「感想録 乙の一」(表紙裏)「流情録」②自:昭和2年5月 至:同9月	和田久太郎(久太迂人)		冊子	随筆・日記・詩・俳句など、昭和2年5月～9月 ①魚の泪(5月) ②自然法尔(6月) ③爪。茄子(7月8月) ④月の心(9月・9/20前後の日付は4枚切り取られて不明) ※No.804(流情録①)の続編、No.806(感想録 甲の一)とのつながり不明
107-4			漫文漫画 原画「そこは急所だ」	望月桂		紙	
806			感想録(甲の一)	和田久太郎(六舎一房五四二号)		縦帳	回想・随筆 ①名所.名物.人物 ②四季と子供(一)～(五) ②故郷の断想(錦江城と維新・生活と方言)

121 人物

番号	年月日	西暦	資料名	出所	宛所	形態	備考
109-2			労働者 合冊(第1巻第1号・第2巻第1号～第7号)			綴	
109-3			労働者 第二巻第五号(校正刷)			綴	
807	昭和2	1927	(表紙)感想録(乙ノ貳)・(巻頭)流情録(四)	和田久太郎(五四二号)		縦帳	随筆・日記・回想(10月～大晦日) ①千古秋風(10月) ②光耀世界(11月) ③氷雨ふる頃
109-4	大正11	1922	労働者 第一巻第二号			紙	
109-5			俺達と政治(校正刷)	望月桂		綴	
808	昭和2	1927	笑へる星(A SKETCH)	和田久太郎(六舎一房五四二号)		冊子	説法・俳句論・随筆など裏表紙「昭和二年十月より昭和三年一月」
809			望月桂原稿(三種) ①遅蒔 ②久の字の友人二人のあら拾ひ骨拾ひ(久板卯之助君) ③「突然ですが…」	望月桂	(友人諸氏)	罫紙	①400字詰原稿用紙2枚②久板死亡の状況、遺骨受取の様子、200字詰原稿用紙15枚③和田久太郎氏の遺灰を撒いて育てた花を贈るにあたって「説明文(同じ内容の手紙を一枚ずつ手書き・6部残存)